

官報

號外

明治二十九年二月十一日

火曜日 內閣官報局

第九回 貴族院議事速記録第十七號

明治二十九年二月十日(月曜日)午前十時三十八分開議

議事日程 第十七號 明治二十九年二月十日

午前十時開議

第一 公爵島津忠濟君請暇ノ件

第二 子爵伊集院兼寛君請暇ノ件

第三 國債證券買入銷却法案(政府提出衆議院送付)

第四 航海獎勵法案(政府提出衆議院送付)

第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 造船獎勵法案(政府提出衆議院送付)

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 債金特別會計法案(政府提出衆議院送付)

第九 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案(政府提出衆議院送付)

第十一 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 議院法第十九條第一項改正法律案(伯耆松浦詮君)

第十三 議院法第十九條第一項改正法律案(外三名發議)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 去ル七日本院ニ於テ衆議院提出明治二十三年法律第五十號民事訴訟法施行條例中削除法律案ヲ否決シタル旨ヲ衆議院ニ通知

致シマシテゴザイマス、同子爵谷干城君ヨリ三十一名ノ贊成ヲ以テ臺灣及澎湖島ニ關スル質問書ヲ提出ニナリマシタル旨ヲ即日政府ヘ轉送致シマシテ

ゴザイマス、同日衆議院ヨリ營業滿期國立銀行處分法案、國立銀行紙幣ノ通

用及引換期限ニ關スル法律案、國立銀行營業滿期前特別處分法案、鎖店銀行

紙幣交換基金特別會計法第五條中改正法律案ヲ受領致シマシテゴザイマス、

同日衆議院ヨリ政府提出本院送付司法官試補實地修習期間ニ關スル法律案ヲ

可決奏上セル旨及政府提出本院送付明治二十八年勅令第四百四十四號ハ承諾ス

ベカラザルモノト議決セシ旨ノ通牒ヲ受領致シテゴザイマス、是ヨリ會議ヲ

開キマス

○侯爵佐竹義生君 獸疫豫防法案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ御差支

ガナクバ……

○議長(侯爵須賀茂韶君) 定則數ニ差支ハゴザイマス、御異議ガナイト

認メマスルニ依ッテ御退席ニナッテ宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 本員ノ差出シマシタル質問書ノ理由ヲ一應述べタイト思ヒマ

ス
○議長(侯爵須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス

(左ノ質問主意書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

臺灣及澎湖島ニ關スル質問主意書

臺灣島及澎湖島ヲ割取シタル上ハ其ノ海陸ノ領有固ヨリ完全ナルヲ要ス領海ノ航通ヲ自由ニスルト否ト領土ヲ他邦ニ讓與スルト否トハ皆帝國主權ニ屬スヘキ全能ナルニ政府力曩ニ露佛獨ノ三國ニ向ヒテ不讓與及自由航通ヲ宣言シタルト云フハ事實ナル乎果シテ事實ナラハ領有權ヲ不完全ニシタルモノニ非ラスト政府ハ自ラ信スル乎

右議院法第四十八條ニ依リ政府ニ對シ及質問候也

提出者

子爵谷 干 城

贊成者

公爵二條 基弘

外三十名

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 本員ヨリ差出シマシタル此質問書ハ御覽モ下サイマシタデア

リマセウガ何分安心ガナラヌデ已ミヲ得ズ本員ガ差出シタルデアリマス、

レデ此臺灣及澎湖島ニ關スル事柄ニ於キマシテハ明治二十八年十月二十一日

ニ倫敦起シタル電報ト云フ譯文ヲ以テカラニ北清日報ニ掲ゲテアル、之ガ本

員ノ疑ヲ起シタル所ノ第一デ、ウレヨリ致シテ又同年同月二十五日同地即チ

倫敦發ノ一電報ノ是モ北清日報ニ載セテアル、デ此最初ノガヲ單簡ニ

讀ミ上ゲマス、英佛獨ノ三國ハ三箇月内ニ遼東半島ヨリ撤兵スル事、三千萬

兩ヲ清國ヲシテ拂ハシムル事、及臺灣海峽ノ自由航權ヲ擔保スル事トニ關シ

日本ノ答書ヲ承諾スル旨ノ外交通知書ヲ送リタルト云フアリ、之ガ初ノ、次

ニ述ベマシタルハ「日本ハ一月下旬ヲ以テ遼東ヲ明渡スベシ而シテ日本ハ臺

灣澎湖島ヲ何國ニモ轉讓セザル可キコトヲ約シタル」所デ隨分怪シイ事トハ思

ヒマシタルケレドモマサカサウ云フ事ハ有ルマイト云フノ考デ若シ有ルナラバ

衆議院ニモ段々考ノアル人ミモ多イコトデアリマスカラ定メテ質問ガ出ルデ

アラウト云フ考デ實ハ是マデ傍觀ヲシテ居ッテ、又總理大臣ヨリ兩院ニ示メサレ

タル所ノ馬關條約ノ始末書ト云フモノヲ見マシテモ一向是等ノ事ハ見エテ居

ラナイ、ケレドモ既ニ前ニ述ベマシタル通北清日報ニハ兩度マデ此事ガ掲ゲ

テアル、且ツ又近ク一ツ疑フベキハ現今政府ノ御用新聞ト唱フル日々新聞ノ

記事ノ中ニ是ハ明治二十八年十二月五日發行ソレニ遼東還付始末ト題シテア

其文ノ中ニ誠ニ此北清日報ト相似タル所ノ文ガ掲ゲテアル、之ヲ以テ見ルトドウモマサカ外國ノ新聞ガ茫漠タル虛言ヲ書イタトモ思ハレヌ、或ハ斯ウ云フ事ガ有リハセヌカト疑フノデ、テ疑フタナリケリ即チ誰カ之ヲ質問スル人ガ有ルデアラウ、我々ノ質問ヲ待タズシテ必ズ質問ガ起ルデアラウト思フ、所ガ今申ス通少シモ起ラヌニ依ッテ已ミテ得ズ之ヲ問フノデアアル、テ抑此明治二十七八年ノ役ニ於キマシテハ戰爭ノ點ニ於テハ我が同胞四千万決シテ一モ遺憾ハナイ、誠ニ充分ニ我國威ヲ輝カスニ足ルダケノ勳ヲ致シタニ違ヒナイ、然ルニ之ニ反シテ外交官ハ如何デアアルカ、斯ノ如キ充分ナル勝利ヲ得ナガラ其結末ト云フモノハ實ニ一モ二モナイ散々ノ敗北ト言ハザルヲ得ヌ、第一ニ遼東ノ土地タルヤ隣國支那ノ即チ門戸デアアル、デ此必要ナル土地ヲ取ルト云フナレバ必ズ之ヲ守ル見込ヲ付ケネバナラヌ、デナカク是ダケノ必要ナ所ヲ取ッテ守ラウトスレバ一旅團ヤ二旅團ヤ一師團ノ兵ヲ守レナイト云フコトハ明ナ事柄デアアル、又斯ノ如キ彼ニ取ッテ必要ナル所ヲ取ラウト云フナレバ必ズ是ハ實ニ苦痛ヲ感ズルコトデアアルカラシテハ他ノ國ノ干渉ヲ受ケルト云フコトモ是モ誠ニ見易キ理デアアル、人ノ咽喉ニ短刀ヲ差付ケテ刺サウトシテハ之ニ忠告ヲスルノハ當リ前ノ義務ト考ヘマス、デ此干渉ノ來ルハ固ヨリ理ノ必然デ此事ニ附イテ最初ヨリ分ラザタト云フハ誠ニ驚入ッタコトデ、是ハ必ズ當局者モ分ッテ居ッタコト、本員杯ハ考ヘル、又其他外國ニ派遣シテ居ル所ノ必要ナル所ニ座ヲ占メテ居ル所ノ公使ニ於キマシテハ充分ニ是等ノ事ハ注意ヲセネバナラヌ、總テ今日ノ戰爭ハ昔ノ戰爭ト違ッテ詰リ腕力ヲ以テ最上ノ裁判ヲスルノデアリマスカラ、ソコデドウシテモハ一方ニハ我邦ノ戰爭ノ景況如何ヲ見、一方ニハ與國ノ形勢如何、ドウ云フ有様デアアルカト云フコトヲ充分注目シテ、サウシテ濫ニ不理ノ干渉ヲ受ケヌヤウニシナケレバナラヌ、近時ノ戰爭ノ例ニ於テハ誠ニ此干渉ヲ受ケタ例ガ多イコトデアアルカラ是等ノ事ヲ當局ノ外交官トシテカラニ知ラヌト云フ道理ハナイ、若シ之ヲ知ラズシテ斯ウ云フ事ヲヤッタラ不明デアアル、又知ッテカラニ、ヨモヤダノミヲシタナラバ誠ニ國威ヲ疎カニシタト言ハナケレバナラヌ、所ガ一時條約ガ出來タト言ッテ萬歲ヲ唱ヘルカト思ヘバ果セル哉右申シタ干渉ガ來タ、此干渉ハ本員杯ハ誠ニ適當ナ干渉ト考ヘル、決シテ無理ナ干渉トハ思ハレナイ、ケレドモ既ニ之ニ應ズル準備モ無シ矢庭ニ此干渉ニ閉口スルト云フナラバ最初ヨリ其覺悟デアラヌヤウニセヌケレバナラヌ、城廓ヲ工夫シテ取ッテ置イテ、直ニ青菜ニ湯ヲ掛ケタヤウナ状態ニナッテ誠ニ數千人ノ人ヲ殺シ多クノ金ヲ費シ大騒ヲシテ得タル所ノ勝利ヲ忽チ一朝ニシテ打毀ハス、是等ノコトニ至ッテハ實ニ遺憾千萬デアアル、扱其後又ドウカト云フト遼東ヲ還付スルト云フコトニ附イテ我朋友タルノ國タル三國ハ親切ニモ日本ノタメニソレ等ノコトヲ盡力シヤウト云フコトモ勸誘サレタト聞イテ居ル、是ハ成ル程遼東ヲ還セト云フテソレヲ承諾シテ還シタト云ヘバ向フモ氣ノ毒ニ思フテ世話ヲシヤウト云フ是ハ人情ノ常デ誠ニ辱イコトデアアル、然ラバ之ニ御親切デア

御願ミ申スト言ッテ何ノ耻シイコトガアラウカ、所ガ當時ハドウ云フ譯カ之ヲ斷ツタト云フコトデアアル、扱斷ツテ見タ所デ相對ノ相談ヲシテ出來ルカト云フトソレハ出來ナイ、其出來ナイ曉ニ又之ヲ三國ニ御願ミシテ漸ク三千万兩ヲ得ラレタ、モト五千万兩ト言出シタモノガ遂ニ直切ラレテ三千万兩ニナッタ、是モ支那ヨリ直切ラレタカト云フニサウデハナイ、彼ノ三國カラシテ直切ラレタト云フコトニ聞エテ居ル、若シ果シテ然リトスレバ此三千万兩ノ償金ト云フモノハ吾ガ我手テ取ッタニアラズシテ即チ我朋友タル三國ノ恩惠ニ依ッテ受ケタモノト云ッテモ不都合ハナイ、又三國ノ外交ニ於テハ一方ニ對シテハ支那ノ向イテ二千万兩ノ恩惠ヲ施シ日本ニ對シテハ三千万兩ノ周旋ヲシタ、實ニ巧ナル外交ト言ハナケレバナラヌ、然ルニ我外交官ニ於テハ如何、前ニ述ベタル通話ヲラナイ眩ッテ最初ハ頼マヌト言ヒ其後ニナッテ手ヲ下ゲテ頼ミ漸ク三千万兩ヲ貰受ケタイト云フ事柄ニ聞エル、ソコデツレニ止マレバマダ宜シイ、所ガ此北清日報ノ報ズル所ノ如クバ我々ノ最初ハ臺灣コソ少シモ疵モ無イ全イモノト思ッテ居ッタ所ガ今言フ北清日報ノ報ズル如クナレバ是ハ無疵ノモノデハナイ、其際大ナル疵ノ附イタモノト認メラルル其周旋ヲシテ貰ッタ結果トシテカドウカ知ラヌガ其際ニ向フヨリ條件ヲ言込マレテ決シテ他國ノ讓與スルコトハナラヌ、又海峽ノ自由航權ヲ充分保擔シ決シテ障礙ノ無イヤウニシロト云フコトヲ明言シテ居ルト斯ウ疑ハレル、讓與ヲセヌト云フコトニ附イテハ誠ニ單簡ニ考ヘルナラバ我手テ取ッタモノヲ人ニ遣ラナイ、我物ヲ人ニ遣ラナイト云フニ何ノ不都合ガ有ラウカト斯ウ云フデアラウガサウデナイ、ト云フモノハ本ト向フカラシテ他ヘ遣ルコトハナラヌゾヨト言フデ、遠慮セヌナラヌト云フハ向フ何ノ目的デアアルカト云フト國ニ依ッテハ大變不利益ニナル、不利益ニナルカラシテ、ソコデ其不利益ヲ豫防スルタメニ申出タ事柄デアアル、ツレバ我々ニ於テ承諾ヲシタト云フモノナラ取りモ直サズモウ確約ヲシタ譯デアアルカラ外ニ讓ルコトハ出來ナイ、之ヲ譬ヘテ申サウナラバ甲乙丙ト三人有ル其甲ノ者ガ財産不整理ヨリシテ我所有物ヲ乙ノ者ヘ引取ラレテ仕舞ッタト假定スル、引取ラレテ仕舞ッタ所デ乙ノ所有ニ歸シタ所デ、扱丙ノ一人ヨリシテ其所有ハ御前ノ手ニ移ルハ承知デアアルガ併ナガラ御前ノ手ニ移ッタ以上決シテ他ヘ之ヲ讓渡スコトハ出來ヌゾヨト云フ條件ヲ附ケル、其時ニ畏マリマシタ、他ヘハ誰ヘモ讓リマセヌト、斯ウ云フ答ヲシタナラバ、其財産ト云フモノ、所有權ハ誰ニアルカ真正ノ所有權ト云フモノハ己レニ、即チ乙ノ人ニアラズシテ丙ノ人ニ真正ノ所有權ハアルト云フテモ不都合ハナイ、若シ之ヲ手ヲ離ス時ハ即チ約束シタ所ノ丙ノ人ニ相談ヲシテ其承諾ヲ受ケヌ以上ニハ出來ナイト云フ結果ニナル、スレバ即チ今申シタル通此臺灣ノ所有權ト云フモノハ決シテ確固タルモノデナイ、之ヲ物ニ譬ヘテ申スト若シ此物ヲ臺灣其物ヲ非常ナ價ニ買ハウト云フ人ガアル非常ナ價ニ買ハウト云フ人ガアル、日本四千万ノ人民ハ持ッテ居ッテモ厄介ダカラドウカ賣リタイ斯ウ云フコトニナッタ所ガ、ドウコイ丙ノ人ガ承知シナイ、ツレハ出來ナイト斯ウ云フコトヲ言ハレタトキニ、ド

ウシマスルカ、約束ヲシテ居ル以上ハ賣ルコトハ出來ヌ、賣ルコトガ出來ナ
イト即チ眞正ノ所有權ハ我ニナイト云々テモ宜シ、或者ハ曰ク何モ臺灣ヲ
他ヘ譲ラヌト云フコトハ當時讓ル必要ガナカッタ時ニ讓ラヌト云フタノデア
ルガ、必要ガ出來タ時ニハ何モ讓テ不都合ハナイ、ソレカラ以上ハモウ腕
力シヤト、斯ウ云フヤウナ辯解ヲスルカモ知レナイ、ソレハ亂暴狼藉ナ言葉
デ三百代言ナラサウ云フ不都合ノコトヲ言フカモ知レヌケレドモ、今日一國
ト一國ト對シテ約束ヲシタコトヲ其ヤウナ三百代言ノ言フヤウナコトヲ以テ
カラニ國際ヲ破ルコトガ出來ルモノデナイ、其出來ルモノデナイニ依ッテ
向フハ其約束ヲ頼ミニシテカラニ安心ヲシテ居ルコト、私共ハ信ジテ居ル、
若シ果シテ今言フ我々ノ解釋スル如クシバトウノ此戰争ノ我國ノ大勝利ノ
結果ト云フモノハドウナツタカト云フトモ二モ皆其後ハ敗北シテ仕舞ッテ、
戰勝者ノ地位ニアラズシテ戰敗者ノ地位ニアル殆ド支那ト同様ノ地ニ陷ッ
ト云フテモ宜シ、ソレノミナラズ其後ノ形勢ト云フモノハドウ云フモノカ
ト云フニ或ハ朝鮮ニ派遣ノ我公使、是ガ失策ガアツタト云フテカラニ矢庭ニ
捕ヘテ牢ニ打込ム、ソレカラ又忽チニ之ヲ追ッ放シテ仕舞ヒ、又臺灣ヨリシテ
カラニ蕃賊ヲ乗セテ支那内地ヘ渡ッタト云フ嫌疑ノアル船ヲ捕マヘテソレヲ
搜索シタ、其搜索シテ法理ニ適ウヤ否ヤ其實實モ未ダ充分ニ研究モセズシ
テ早ヤ矢庭ニ其司令官ヲ免ジ、全ク低頭平身スルト云フコトニ至ッテハ實ニ
言語道斷ト思フ、此ノ如キ外交ノ有様ヲ以テカラニ如何ニ軍艦ヲ多數ニ造
リ、如何ニ兵ヲ多數ニ増シタ所ガ到底戰ハ勞シテモ……功ガ有ッテモ其ノ
後ノ結局ガ此ノ如キ勢ニ陥イル時ニハ實ニ情ケナイコトデアル、故ニ此澎湖
島ノ事柄ハ決シテ等閑ニ看過スルコトガ出來ヌト思ヒマスカラシテ、已ミヲ
得ズ言ヒ難ヒコトヲ今日ハ申スノデアル、若シ是ガ衆議院デ質問スル人デモ
アルカ、ドナタカ質問スル御方ガアツタナラバ我好ンデ斯ウ云フ所以ヲ申ス
譯デハナイ、已ミヲ得ズ一言此事ヲ申シテ置キマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日ノ議事日程ニ移リマス、第一公爵島津忠濟
君請暇ノ件、是ハ疾病ニ附イテ四十八日間ノ請暇ヲ申出ラレマシテゴザイマ
ス、第二、子爵伊集院兼寛君請暇ノ件ヲ申出ラレマシテゴザイマス、是ハ別
段御異議ハナイト存シマスニ依ッテ許可ヲ致シマス、次ニ國債證券買入銷却
法案、政府提出、衆議院送付第二讀會ヲ開キマス、此案ハ三條ホカゴザリマ
セヌ、至ッテ簡單ナ案デゴザイマスニ依ッテ總テ東ネテ問題ニ供シマス、若
シ修正等ノ御意見ガアツタ時分ニハ其時ニ至ッテ分割スルコトニ致シマス、唯
今ハ東ネテ問題ニ供シマス朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

國債證券買入銷却法

第一條 政府ハ毎年度國債費豫算定額以內ニ於テ國債證券ヲ買入レ之カ銷
却ヲ爲スコトヲ得

前項買入ノ價格ハ該證券面金額ニ超過スルコトヲ得ス
第二條 國債證券ノ買入銷却ヲ爲シタルトキハ大藏大臣ハ其ノ證券ノ種類
番號總額及其ノ買入價格ヲ告示スヘシ
第三條 銷却ノ爲メニスル國債證券ノ買入ハ隨意契約ヲ以テ之ヲ爲スコト
ヲ得

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ニ對シテ別ニ御發議ハゴザイマセヌカラ表
決ニ付シマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○男爵中山興長君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開レンコトヲ希望シ
マス

○南鄉茂光君 贊成

○小原重哉君 贊成

○男爵西五辻文仲君 贊成

○子爵小笠原壽長君 贊成

○關田可通君 贊成

○男爵金子有卿君 贊成

○周布公平君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 中川男爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會
ヲ開ク此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス議事日程變更ニ相成リマシ
タ、直ニ第三讀會ヲ開キマス、是ハ即チ全部ヲ問題ニ供シマシテ朗讀ハ省略
致シマス

○久保田讓君 少シ意見ヲ述ベマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第三讀會ニ修正ノ意見ハ述ベラレマセヌ

○久保田讓君 修正デハアリマセヌ第三讀會ニ附イテ意見ヲ述ベマス、第三
讀會ヲ開クベカラズト云フ意見ヲ述ベマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 第三讀會開クベカラズト云フサウ云フ御意見ハ
唯今提出スル場合デハアリマセヌ、既ニ第三讀會ヲ開クコトニ極マリマシタ

○久保田讓君 決シマシタカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 決シマシテゴザイマス、表決ニ付シマス原案ヲ
可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ航海獎勵法案、政府提
出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、是ハ條數モゴザイマスニ依ッテ提出
文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)
航海獎勵法案
右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年二月五日

衆議院議長楠木正隆

貴族院議長侯爵須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
航海獎勵法

- 第一條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若ハ株主トスル商事會社ニシテ自己ノ所有ニ專屬シ帝國船籍ニ登録シタル船舶ヲ以テ帝國ト外國トノ間又ハ外國諸港ノ間ニ於テ貨物旅客ノ運搬ヲ營業トスル者ニハ此ノ法律ノ規程ニ依リ其ノ船舶ニ對シ航海獎勵金ヲ下付ス
- 第二條 此ノ法律ニ依リ航海獎勵金ヲ受ケヘキ船舶ハ總噸數一千噸以上ニシテ一時間十海里以上ノ最快速力ヲ有シ遞信大臣ノ定ムル造船規程ニ合格シタル鐵製又ハ鋼製汽船ニ限ル
- 第三條 航海獎勵金ヲ受ケムトスル船舶ノ所有者ハ其ノ船舶ニ對シ豫メ遞信大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第四條 左ノ船舶ハ航海獎勵金ヲ受ケルコトヲ得ス
第一 此ノ法律施行以後帝國船籍ニ登録ノ際製造後五箇年ヲ經過シタル外國製造ノ船舶
第二 製造後十五箇年ヲ經過シタル船舶
第三 帝國政府ノ命令ニ依レル航路ニ使用スル船舶
第五條 航海獎勵金ハ總噸數一千噸ニシテ一時間十海里ノ最快速力ヲ有スル船舶ニ對シ總噸數一噸航海里數一千海里ニ付二十五錢ヲ支給シ總噸數五百噸ヲ増ス毎ニ其ノ百分ノ十最快速力一時間一海里ヲ増ス毎ニ其ノ百分ノ二十ヲ増給ス但總噸數六千五百噸以上又ハ最快速力一時間十八海里以上ノ船舶ニ對シテハ總噸數六千噸又ハ最快速力一時間十七海里ノ船舶ニ對スル割合ニ依リ支給ス
- 第六條 航海獎勵金ハ製造後五箇年ヲ經過セサル船舶ニ對シテハ全額ヲ支給シ五箇年ヲ經過シタル船舶ニ對シテハ一年毎ニ其ノ百分ノ五ヲ遞減ス
- 第七條 遞信大臣ハ命令ヲ發シ相當ノ金額ヲ給與シテ第三條ノ認可ヲ受ケタル船舶ヲ公用ノ爲ニ使用スルコトヲ得
- 第六條 航海里數ハ各港間ノ最近航路ニ依リ之ヲ算定ス
帝國各港ヘ寄港シ外國ヘ發航スル船舶ニ在テハ最終ノ寄港地ヲ起點トシ又外國ヨリ發航シ帝國各港ニ寄港スル船舶ニ在テハ最初ノ寄港地ヲ終點トシテ其ノ航海里數ヲ算定ス
- 第七條 遞信大臣ハ命令ヲ發シ相當ノ金額ヲ給與シテ第三條ノ認可ヲ受ケタル船舶ヲ公用ノ爲ニ使用スルコトヲ得

船舶所有者前項ノ給與金額ニ對シ不服アルトキハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項ノ出訴ハ使用ヲ停止セス

第八條 第三條ノ認可ヲ受ケタル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ命令ニ依リ左ノ割合以内ニ於テ其ノ費用ヲ以テ航海修業生ヲ該船舶ニ乗組マシメ同大

臣ノ定ムル手當ヲ支給スヘシ

總噸數一千噸以上二千五百噸未満

總噸數二千五百噸以上四千噸未満

總噸數四千噸以上

二 人
三 人
四 人

第九條 第三條ノ認可ヲ受ケタル船舶ノ所有者ハ遞信大臣ノ許可ヲ受ケルニテ但外國人ヲ其ノ本支店ノ事務員若ハ該船舶ノ職員ト爲スコ

トヲ得ス但外國ニ於テ死亡其ノ他止ムヲ得サル事故ニ因リ船舶職員ニ缺員ヲ生シタルトキハ該地官廳ノ公認ヲ經テ之ヲ補フコトヲ得此ノ場合ニ

於テハ該船舶ノ所有者又ハ船長ヨリ直ニ遞信大臣ノ許可ヲ請フヘシ

第十條 第三條ノ認可ヲ受ケタル船舶ノ所有者航海獎勵金ヲ受ケ航海スル場合ニ於テハ遞信大臣ノ命令ニ從ヒ該船舶ニ郵便更員ヲ無賃乗船セシメ

及該船舶ヲ以テ郵便物、小包郵便物、郵便用品及小包郵便用品ヲ無料ニテ

遞送スヘシ

第十一條 第三條ノ認可ヲ受ケタル船舶ノ所有者及其ノ承繼人ハ航海獎勵金ヲ受ケ航海スル期間並ニ其ノ航海ヲ終リタル日ヨリ三箇年間其ノ船舶

ヲ外國人ニ賣渡貸渡、交換、贈與、質入、書入スルコトヲ得ス但其ノ船舶ノ既ニ受ケタル航海獎勵金ヲ償還シタルトキ又ハ天災其ノ他抗拒スヘカラ

サル強制ニ因リ航行ニ堪ヘサルトキ若ハ遞信大臣ノ許可ヲ得タルトキハ

此ノ限ニ在ラス

第十二條 遞信大臣ハ此ノ法律ニ依リ船舶所有者ノ義務ニ屬スル事項ニ付テハ直ニ其ノ代人若ハ船長ニ命令ヲ下スコトヲ得

第十三條 詐偽ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者又ハ第十一條ノ規程ニ違背シタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下

ノ罰金ヲ附加ス

前項ノ罪ヲ犯サムトシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處斷ス

第十四條 此ノ法律ニ依リ遞信大臣ノ發スル命令又ハ第九條ノ規程ニ違背シタル者ハ二十圓以上五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第十五條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第十六條 詐偽ノ所爲ヲ以テ航海獎勵金ヲ受ケタル者ハ其ノ因テ得タル金額ヲ償還セシメ第十一條ノ規程ニ違背シタル者ハ其ノ既ニ受ケタル航海

獎勵金ヲ償還セシム

第十七條 船舶所有者此ノ法律ヲ犯シタルトキハ遞信大臣ハ航海獎勵金ノ下付ヲ停止スルコトヲ得第十二條ノ場合ニ於テ其ノ代人又ハ船長ノ犯シ

タルトキ亦同シ

第十八條 前數條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ各條ニ掲クル所爲ヲ爲シ

タル業務擔當ノ任アル社員若ハ取締役ニ之ヲ適用ス

第十九條 此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

(國務大臣白根專一君演壇ニ登ル)

○國務大臣(白根專一君) 諸君、航海ノ事業ハ國力ノ盛衰消長ニ關係スルコ

ト最モ大ナルモノデアリマシテ殊ニ四面海ヲ以テ圍ミタル我帝國ニ於キマシ
テハ最モ此事業ニ重キヲ置キマシテ充分ニ此發達ヲ求メンニハナラヌト云フ
コトハ今更ニ申スマデモゴザイマセヌ、曩ニ東京商業會議所並ニ全國各地ノ
商業會議所ニ於キマシテハ殆ド舉ツテ航海事業ノ目下缺クベカラザルノ必要
ヲ感シ之ヲ政府ニ建議ヲ致シマシタ政府ハ夙ニ此事業ニ附イテ擴張ヲ圖ラン
ニハナラヌト云フコトヲ認メテ居リマシタカラ充分ナル調査ヲ致シマシテ内
外ノ情勢ニ照ラシテ彼此參酌ヲ致シマシテ此法案ヲ編制致シタ譯デアリマスル
抑、陸上ニ道路ヲ開キ軌道ヲ通ジマスルト海上ニ航路ヲ開キマスルトハ誠ニ
相似タル事業デアリマスル、サウシテ今陸上ニ於キマスル道路ノ交通機關タ
ル最モ有要ナルモノ、鐵道事業ニ於キマシテハ殆ド二千、まいる以上ニ達シテ
居リマシテ又之ヨリ建築セントスル所ノ鐵道まいる數モ實ニ延長ナルモノデ
アリマシテ比較的進歩ノ狀況ヲナシテ居ルト云フベキニモ拘ラズ眼ヲ航海事
業ニ轉ジマスレバ如何ナル狀況デゴザイマセウカ、明治二年始テ西洋形船舶
ノ所有ヲ國民ニ許シマシタ以來帝國沿海ノ航業權ニ於キマシテハ我航權ヲ全
ウスルコトガ出來マシテ漸ク輓近ニ至リマシテ航海事業モ稍、發達ヲ致シマ
シテ船舶ニ不足ヲ感ズルト云フヤウナ狀況デアリマセヌガ併シ之ヲ外國航
路ニ於テハ如何ナル狀況デアルカト云フコトヲ又一層觀察致シマスレバ誠ニ
萎靡振ハヌト云フコトヲ殘念ナガラ申サンニハナリマセヌ、遠クハ歐米或ハ
濠洲ノ大航路ノ如キハ暫ク論ジマセヌコト、シマシテ近ク東洋近海ニ於キマ
シテノ海運ノ利益ト云フモノハ誰ガ占メテ居リマスルカ實ニ外國船舶ノ殆ド
專有スル所トナツテ居ルノデアアル、試ニ明治二十二年以後五箇年間ニ於キマシ
テ清國近海ニ於テ各開港場ニ出入シマスル船舶ノ噸數ヲ見マスルニ平均概ネ
英國船舶ハ全數ノ六割四分獨逸船舶ハ五分ヲ占メ我船舶ハ僅ニ一分七厘ニ過ギマ
セヌ、又明治二十七年間ニ於キマシテ香港ノ出入船舶ノ噸數ヲ見マスルニ英
國船舶ハ五割五分獨逸船舶ハ九分ヲ占メ我船舶ハ一分ヲ占ムルノ比例ニナツテ居
リマスル、斯ル有様デゴザイマシテ此統計ハ數理ニ於テ爭フベカラザル事實
デアリマスルカラ即チ外國ノ交通ニ於キマシテハ我航業ノ未ダ振ハヌト云フ
コトヲ證スルニ足ル譯デアリマスル、我國ノ如キ最モ此外國ニ交通ヲ求メマ
スルニハ何レモ船舶ノ力ニ依ラネバナラヌト云フコトハ論ヲ踰タヌコトデア
リマスル、デ之ヲシテ完全ナラシムルト云フコトニ致シマスレバ即チ海外貿
易ヲ隆盛ニナラシメ殖産興業ヲ隆盛ナラシムルト云フコトニ就キマシテハ此
事業ヲ振起スルト云フコトハ一日モ忽諸ニ付スベカラザル所ノ緊要ナル事デ

(五)

アリマスル、加之一朝若シ有事ノ時ニ際シマシテ此船舶ハ即チ陸海軍ノ運送
ノ援助ヲ爲シマシテ聊カ國防上ニモ關係ヲ有シテ居ル譯デアリマスル、近ク
ハ日清交戦ノ時ニ際シマシテ運送船ノ與ツテ力ノ有ツタト云フコトハ諸君ト共
ニ目撃シテ居ル所デアリマスル、是ハ即チ好イ適例デアリマスル、是ニ依ッ
テ之ヲ見マスルト成ル程航海ノ事業ト申シマスルモノハ一人ノ營業デハア
リマスル、サリナガラ國家ハ常ニ之ヲ獎勵シ宜シク保護ヲ加ヘマシテサウシ
テ常ニ充分ナル船舶ノ交通ヲ開カセルト云フコトハドウモ疑フ容レヌ所デア
リマスル、抑、海洋ノ潮大無量ナル其海洋中ニ通リマスル所ノ航路ハ誠ハ縱
橫無限ナルモノデアリマスル、故ニ彼ノ特別助成法即チ一定ノ航路ヲ指定シ
マシテ之ニ宜シク保護金ヲ與ヘテ行キマスル所ノ即チ特別獎勵法ヲ行フコト
勿論必要デアリマスル、是レ亦政府ハ必要ト見マシテ追テ諸君ノ協賛ヲ求ム
ル旨ニナツテ居リマスルガ當ニ此特別獎勵法ノミヲ以テシテハ尙ホ未ダ充分
デゴザイマセヌ、故ニ一般ノ航業ニ從事シマスル者ニ對シマシテハ一定ノ獎
勵金ヲ下付シマシテ廣ク航路ヲ四方ニ取ラシメテ利ノ有ル所ハ何レノ所デモ
船舶ヲ交通サセマシテ航海ノ時期ヲ定メ又發著ノ時期ヲ定メズ航海海上ニ於
テ自由ノ發達ヲ誘導スルト云フコトガ必要デアリマスル、斯ノ如ク致シマシ
テ帝國ノ航業權ヲ充實鞏固ナラシムルト云フコトヲ望ム譯デアリマスル、故
ニ本案ニ於キマシテハ帝國ノ船舶ニ在リマスルモノハ帝國ト外國トノ間又ハ
外國各港ニ於キマシテ旅客貨物ヲ運漕致シマスルモノニ對シマシテハ誰彼ノ
別ナク皆舉ゲテ以テ此獎勵法ニアル所ノ保護金ヲ與ヘマシテサウシテ宜シク
此法案ニ依ッテ之ヲ保護セント云フコトヲ期シマシタ次第デアリマスル、以
上陳述致シマシタ所ハ概略ノ大旨ニ止リマスデアリマスルカラ本案ノ各條
及理由書ニ於キマシテ篇ト御了承アッテ速ニ本案ヲ議了セラレ確定アラシ
トヲ望ミマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リ

マス

○調所廣丈君 本案ヲ付託スベキ特別委員ハ成規ノ人數ト致シマシテ議長ニ

於テ選定アラシコトヲ希望致シマス

○船越衛君 贊成

○小原重哉君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今調所君ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ託スルト云

フ動議デゴザイマス、調所君ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ造船獎勵法案、政府提

出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、是レ亦通牒文ノミヲ朗讀致サセマ

(有賀書記官朗讀)

造船獎勵法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年二月五日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂昭殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス)

造船獎勵法

第一條 帝國臣民又ハ帝國臣民ノミヲ社員若クハ株主トスル商事會社ニシテ遞信大臣ノ定ムル資格ヲ備フル造船所ヲ設ケ船舶ヲ製造スル者ニハ此ノ法律ノ規程ニ依リ其ノ製造船舶ニ對シ造船獎勵金ヲ下付ス

第二條 此ノ法律ニ依リ造船獎勵金ヲ受クヘキ船舶ハ鐵製又ハ鋼製ニシテ總噸數七百噸以上ヲ有シ遞信大臣ノ定ムル造船規程ニ從ヒ其ノ監督ヲ受ケ製造シタルモノニ限ル

第三條 造船獎勵金ハ總噸數七百噸以上一千噸未満ノ船舶ニ在テハ船體總噸數一噸ニ付金十二圓二千噸以上ノ船舶ニ在テハ一噸ニ付金二十圓ヲ支給シ其ノ機關ヲ併セ製造シタル場合ニハ一實馬力ニ付金五圓ヲ増給ス但帝國内ノ他ノ工場ニ於テ機關ヲ製造セシメタルトキト雖豫メ遞信大臣ノ許可ヲ得タルトキモ亦同シ

第四條 造船獎勵金ヲ受クヘキ船舶ノ船體及機關ニハ遞信大臣ノ定ムル規程ニ依リノ外國製品ヲ供用スルコトヲ得ス

第五條 詐偽ノ所爲ヲ以テ造船獎勵金ヲ受ケタル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二百圓以上千圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ因テ得タル造船獎勵金ハ之ヲ償還セシム

前項ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ刑法未遂犯罪ノ例ニ依リ處斷ス

第六條 此ノ法律ヲ犯シタル者ニハ刑法數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第七條 前二條ノ罰則ハ商事會社ニ在テハ其ノ所爲ヲ爲シタル業務擔當ノ任アル社員若クハ取締役ニ之ヲ適用ス

第八條 此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ十五箇年間之ヲ施行ス

(國務大臣白根專一君演壇ニ登ル)

○國務大臣(白根專一君) 此法案ハ航海獎勵法ト相牽聯シテ離ルベカラザルモノデアリマスル、サウシテ此造船獎勵法ト云フ所ノ大旨趣ニ於キマシテハ矢張航海ヲ獎勵スル所ノ旨趣ト同一ナル事デアリマスルカラ今更ニ喋々ヲ要シマセヌ、唯一二今我國ノ造船ノ有様ハ如何デアアルカト云フコトヲ申シマスレバ誠ニ是ハ比較的航海ノ事業ヨリモ尙ホ進マヌト云フコトヲ遺憾ナガラ申サヌニハナリマセヌ、成程西洋形ノ船舶ノ數ハ、千四百六十五艘ト云フ稍多キニ達シテ居リマスルガ其中ニ就キマシテ如何ナル船ガ我國ニ製造致シテ海運ノ業ニ供セラレテアルカト云フコトヲ尋ネテ見マスレバ總噸數千噸以上

ノ船ニナリマシテハ僅ニ一二ニ過ギマセヌ、斯ノ如キ有様デゴザイマスルカラ今日ノ狀況又將來ヲ察シマシテモ我國ニ於キマシテハ造船ヲ獎勵致シマシテ就中大ナル船ヲ造作スルコトヲ獎勵致シマシテサウシテ彼ノ航海獎勵ト相俟ツテ此海運ノ事業ヲ全ウシ是ヨリシテ經濟的ノ戰爭場裏ニ一步進ンデ內國ノ交通機關ノ進歩スルト共ニ外國ニ向ッテモ又交通機關ノ隆盛ヲ爲サムト云フ次第デ此兩法案ヲ通過致シマシテ今日之ヲ實施スル曉ニ至リマシテハ實ニ我海運上ヲシテ益々隆盛ナラシムルト云フコトヲ期シテ居リマスル、宜シク御協賛アラント望ミマス

○子爵内藤政共君 一寸質問……此法案ノ第三條ノ所ニ「其機關ヲ併セ製造シタル場合」トゴザイマス、其機關ヲ併セト云ヒマスト云フト船ヲ新造シ機械モ釜モ共ニ皆新造シタルトキノ場合ノミデアリマスノデスカ、是ハ機械釜ト云フモノハ特別ニ一ニ製造シタルトキノ場合モ機械ト釜ト兩方新造シタルトキノ場合ト或ハ機械ト機關ト云フモノハワリヤ別々ニ新造シタルトキノ場合ニモ之ニ據ルノデゴザイマセウカ

(政府委員佐藤秀顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(佐藤秀顯君) 内藤子爵へ御答ヲ致シマス、前段ニ御問ノアリマシタ通デ、併セ製造シタル場合デナケレバ獎勵金ハ下付シナイ筈デゴザイマス

○子爵内藤政共君 サウ致シマスト唯今ノナンデゴザイマスカ、是ハ船モ蒸氣機械モ蒸氣機關モ皆一緒ニ拵ヘタルトキノ場合デスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 其通……

○子爵内藤政共君 モウ一應承リマス、此「一實馬力ニ附キ金五圓」ト云フコトガゴザイマス、此一實馬力ト云フモノハ如何ナルモノヲ計ルノデゴザイマスカ、之ヲ一ツ承リタイ、一實馬力ト云フモノハ機關ノ大小ニ依リモノデアアル、譬ヘテ見マスレバ千實馬力ノ機關ヲ拵ヘヤウト云フ目的デ拵ヘタルモノヲ或ハ其機械ハ働カセヤウニ依ッテハ一割位即チ千五百馬力位ノ働ヲ出スコトモ出來或ハ其以內ナレバ八百馬力位ニ使フコトモ出來、五百馬力位ニ使フコトモ出來ルト云フコトデアアル、是ハ如何ニシテ御計リニナリマスカ、此邊ハシッカリシテ百馬力ト云フコトヲ勘定スルノハ此機械ニ依ッテ是ダケノモノヲ一實馬力ト云フ法律上ノ何カ參考デモ出來ナケレバ一馬力ノ極メ方ハアルマイト考ヘマス、一實馬力ハ其機關ノ壓力ニモ據リマスルシ、又其時ノ運轉數ニモ據ルモノデアアルカラ是ガ皆違タ日ニハ此法律ノ一實馬力ト云フモノハ何ヲ目的トシテ宜イカ、或ハ千馬力ノモノガ千二百ニモナリマス、如何ニシテ之ヲ御計リニナリマスカ

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答致シマス、詰リ出來上リマシテ試運轉ヲ致ストキニ實際ニ見マシテ其實馬力デ支給スル筈デゴザイマス

○子爵内藤政共君 モウ一ツ御尋致シマス、サウ致シマスルト云フト今ノ御答ニ據リマスト云フト、則チ初メテ拵ヘタルトキノ試運轉デ計ッテツレバ其時ノ實馬力ト云フコトヲ御取極メニナルヤウナ御話デアリマシタガ、サウ致シマ

スト必ズ製造致シマスモノハ運轉ノ時ニハ充分無理ノ出ル譯デ實馬力ヲ必ズ出スニ違ヒナイ、其充分出ルダケ其機械ノ有ル限リノコトハ必ズヤルニ違ヒナイト思ヒマス、サウスレバ必ズ餘リ不適當ニ薪ヲ炊キ過ギタリ或ハ機械ヲ仕過ギタル時ニハ随分危險ナコトガ有ラウカト思ヒマス、又危險モ必ズ試運轉ノ際ニアレバ宜シウゴザイマスガ其危險ガ後ニ遺ツテ來テ或ハ乗客ヲ積ミテカラ危險ヲ起スト云フコトガ有リマシタ時分ニハ却ツテ害ガ有ラウト思フ、ツコハ如何ニシテ之ヲ御極メニナルノデゴザイマスガ

(有賀書記官朗讀)
債金特別會計法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年二月五日
衆議院議長楠本正隆

○政府委員(佐藤秀顯君) 最初御答致シマシタル通、試運轉ノ時ニ實驗スル答デアリマス、毎モ試運轉ニ出シマシタダケノ速力ヲ出スモノデハナイ、試驗スル方法ハ如何ト云フ御尋ニ就キマシテハ最初試運轉ノ時ノ實馬力ニ據ルト御答スルヨリ外ハナイノデゴザイマス

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿
(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)
債金特別會計法案

○磯部包義君 政府委員ニ質問シマス、此造船獎勵法ハ固ヨリ商船ノ製造ニ向ッテ此法ニ依ッテ行フコトハ分ツテ居リマスガ、是ハ段々ニ製造所ガ進ミマシテ軍艦或ハ水雷艇ヲ製造致シマスルトキニハ此法案ニハ與ラレマセヌノデゴザイマスガ

第一條 債金及其ノ利子ハ一般ノ歲入歲出ト區分シ特別ノ會計ヲ設置ス
第二條 債金ハ金銀地金及有價證券ヲ以テ之ヲ保有スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ日本銀行ヲシテ其ノ交換ヲ取扱ハシム
前項ノ交換ヨリ生スル差増減ハ本會計ノ歲入出ニ屬スルモノトス
第三條 國庫內現金融通ノ爲メ國庫ヨリハ債金ノ金地金ヲ以テ日本銀行ヨリハ之ニ相當スル兌換銀行券ヲ以テ相互間ニ貸借勘定ヲ組成スルコトヲ得此ノ場合ニ於ケル利子ノ割合ハ大藏大臣之ヲ定ム
前項ノ金地金ハ日本銀行ニ於テ兌換銀行券ノ準備ニ供スヘキモノトス
第四條 政府ハ毎年債金特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

○政府委員(佐藤秀顯君) 磯部君ニ御答ヲ致シマス、海軍艦船艇ハ除イテアルノデゴザイマス
○磯部包義君 軍艦ハ海軍省カラ注文ヲ致シマスルノミデハゴザイマセヌノデゴザイマセウ、追々ニハ露西亞ニ於テハ既ニ義勇艦隊モゴザイマス、又其他ノ各國ニ於キマシテモ巡洋艦ヲ以テ總テ郵船其他ノ事ニ用ヒテ居リマスルガ一個人或ハ會社ニ於キマシテ船ヲ造船所ニ註文致シマスルハ商船ヲ註文致シマスルノモ同ジイ譯デアラウト存ジマス、サウシテ此軍艦ヲ造リ水雷艇ヲ造リマスノハ商船ヲ造リマスヨリモ餘程造船所ハ進歩致サンケレバナラヌ、然ルトキハ此法ニハ最モ獎勵金ヲ與ヘルノガ至當ト本員ハ考ヘマセウ一應御答ヲ……

(政府委員松尾臣善君演壇ニ登ル)
○政府委員(松尾臣善君) 唯今議題ニナリマシタ債金特別會計法ノ大體ノ趣意ヲ一應申上ゲテ置キマスデゴザイマス、清國ヨリ領收シマスル所ノ軍費賠償金ハ英國ニ於キマシテ英貨ヲ以テ領收スルコトニ致シマシテゴザイマス、又是ハ數年ニ跨リマシテ領收スルモノデゴザイマス、而シテ之ヲ使用シマスルニモ或ル費途ヲ定メマシテ其必要ニ應ジテ矢張又數年ニ跨ッテ支出スル見込デゴザイマス、又英國ヨリ本邦ヘ回送致シマスルニ附キマシテモ或ハ爲替又ハ銀塊若クハ金塊等ヲ以テ市上ノ景況ヲ酌量致シマシテ漸次ニ取寄セヌケレバナリマセヌ、是等ノ特別ノ取扱ヲ致シマセヌケレバナリマセヌガ故ニ一般ノ會計デ之ヲ整理スルコトガ出來マセヌノデゴザイマス、依ッテ特別法案ヲ提出致シマシタ譯デアラウマシマス、速ニ御議了アランコトヲ願ヒマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○政府委員(佐藤秀顯君) 御答ヲ致シマス、固ヨリ各國ニハ種々ゴザイマスガ本案ニハ海軍艦船艇ハ籠ッテ居ラヌノデゴザイマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リマス
○調所廣丈君 此特別委員ハ前ノ航海獎勵法案同一ノ委員ニ付託シタイト云フ意見デゴザイマス
○小原重哉君 贊成

○男爵西五辻文仲君 此議案ノ審査委員ヲ議長ニ於テ選定セラレンコトヲ望ミマス
○子爵小笠原壽長君 贊成
○男爵玉松眞幸君 贊成
○子爵鍋島直柔君 贊成
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 西五辻男爵ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ託スト云フ動議ニ贊成ノ諸君ノ御起立ヲ請ヒマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 調所君ヨリ此法案ハ航海獎勵法案ノ委員ト同一委員ニ付託スルト云フ、此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ債金特別會計法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デゴザイマス、次ニ臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案政府提出衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年二月五日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂昭殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

第一條 臨時軍事費特別會計ハ明治二十九年三月三十一日ヲ以テ終結ス

第二條 臨時軍事費特別會計年度所屬ノ歳入歳出ノ出納ニ關スル事務ハ明治三十年三月三十一日マテニ悉皆完結スヘシ

第三條 臨時軍事費ノ支辨ニ屬スル工事製造等ノ事業ニシテ明治二十九年三月三十一日マテニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ遞次繰越シ使用スルコトヲ得

第四條 臨時軍事費ノ支辨ニ屬スル諸費ニシテ既ニ契約ヲ爲シ若クハ支出スヘキ債務確定シ明治二十九年三月三十一日マテニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シテ使用スルコトヲ得

第五條 臨時軍事費特別會計ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ一般會計ノ歳入ニ繰入ルヘシ

(國務大臣子爵渡邊國武君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 唯今議ニ付セラレマシタ臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案ハ至ッテ簡單ナ法律デアリマスルガ此日清事件ニ附イテ臨時軍事費特別會計ヲ設置セラレマシタガ既ニ事平定ニ至リマシタ故ニ今年ノ三月三十一日ヲ以テ出納ヲ閉ジマシテ明年三月三十一日ヲ以テ一切完結整理ヲ終ル都合ニ致シタイト云フ見込デ提出致シマシタ、充分御審議ノ上通過セラレシコトヲ希望致シマス

○子爵曾我祐準君 唯今ノ事ニ附イテ御導致シマス、此第三條ニ「工事製造等ノ事業ニシテ明治二十九年三月三十一日マテニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノハ」云々トアリマスガ廣島水道工事ハ軍事費デ成立ッタト云フコトデアリマスガ是ハアレ等ノ點モ指シマスノデアリマスカ、一例トシテ御導致シマス

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 矢張、アレモ這入ッテ居リマス

○子爵曾我祐準君 廣島ノ水道ガ軍事ニ關係ト云フハドシナ理由デアリマセウカ、他日戰サガ有ッタ時分ニ廣島ノヤウナ所ハ又海軍ナリ陸軍ナリ、水ガ要用ダト此ノ如キ理由ヲ以テシタナラバ天下ノ仕事戰サノ爲ト云フ問題ヲ冠セレバ凡ソ軍事トサレナイモノハアルマイト思ヒマス、私ハ至ッテ經濟ノ事

ニモシウゴザイマスケレドモ軍事費ト云フモノハ他日ノ戰サヲモ考ヘテ總テ御支出ニナルデアアルカ其要目ヲ伺ヒタウゴザイマス

○國務大臣(子爵渡邊國武君) 唯今ノ廣島水道ノコトデアリマスガ、全ク他日ノタメバカリデアハリマセヌ、他日モ勿論必要デアリマスルガ、彼ノ軍事水道ヲ企テマシタトキハ未ダ臺灣ノ平定ニ至ラヌトキデアリマシタ、是等ノ出兵ノタメニモ必要デアルト云フ所ヨリ主務大臣ヨリ請求ニナリマシテゴザイマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 本案ノ審査ヲ付託スベキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵平松時厚君 本案ノ委員モ議長ニ付託シタイト思ヒマス

○伯爵大原重朝君 贊成

○議長(侯爵須賀茂昭君) 平松子爵ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ託スルト云フ此動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デゴザイマス、次ニ議院法第十九條第一項改正法律案、伯爵松浦詮君外三名發議、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

議院法第十九條第一項改正法律案

右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

明治二十九年二月五日

發議者

伯爵 松浦 詮

子爵 曾我 祐準

贊成者

子爵 柳澤 光邦

梅原 脩平

伯爵 井伊 直憲

外五十九名

議院法第十九條第一項改正法律案

第十九條 各議院ノ議長ハ歳費トシテ四千圓副議長ハ二千圓貴族院令第一條第四項ニ依リ勅任セラレタル議員及衆議院議員ハ八百圓ヲ受ク但シ召集ニ應セサルモノハ歳費ヲ受クルコトヲ得ス

各議院ノ議長副議長及議員ハ別ニ定ムル所ノ規則ニ從ヒ旅費ヲ受ク

○子爵曾我祐準君 本員ガ發議者ノ一人トシテ説明ヲ致ス答デゴザイマスガ、モウ時間ガ十二時ニ餘程近クナリマシタガ、少シ此説明ハ時間モ取レマセウト思ヒマスガ、此間ニ休憩ナサツタラ如何デスカ、一應意見ヲ述ベマス

(贊成々々ノ聲起ル)

(八)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 發議者ノ演說ハ長イト云フコトデゴザイマス
依ッテ休憩ヲ致シマス

午前十一時五十四分休憩

午後一時十三分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本日公爵近衛篤磨君子爵曾我祐準君子爵岡部長
職君ヨリ四十餘名ノ贊成ヲ以テ北海道鐵道敷設法案ヲ發議セラレマシテゴザ
リマス、次ニ今朝本席へ御委託ニナリマシタル特別委員ヲ選定致シマシタニ
依ッテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

航海獎勵法案外一件特別委員

侯爵黒田 長成君 子爵内藤 政共君 周布 公平君
森岡 昌純君 長谷川 貞雄君 武井 守正君
山脇 玄君 磯部 包義君 下郷 傳平君

賞金特別會計法案特別委員

伯爵松浦 詮君 子爵酒井 忠彰君 子爵佐竹 義理君
男爵金子 有卿君 何 禮之君 湯地 定基君
富田 鐵之助君 木下 廣次君 中村 良謙君

臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案特別委員

伯爵立花 寛治君 尾崎 三良君 津田 眞道君
男爵榊 取素彦君 山 川 浩君 船 越 衛君
平田 東助君 林 宗右衛門君 關田 可通君

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 午前ノ會議ヲ繼續致シマス

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 說明ニ取掛リマス前ニ此案ニ削除スベキ所ガアリマス
カラ一應申上デテ置キマス ツレハ贊成者ノ中ニ男爵榊村正直君ガゴザイマ
ス、是ノ御削除ヲ願フノデゴザイマス

(山川浩君「ツレハ正誤デゴザイマス」ト述フ)

左様、正誤デハアリマセヌ、誤リハ致シマセヌ正誤ト云ヘバ誤ヲ正スノデゴ
ザイマスガ榊村男爵ハ一應御贊成下スツタニ相違アリマセヌ、ツレハ提出ヨリ
餘程前キデ、慥カ二十四五番目ニ御贊成下スツタガ其後御取消シニナリマシタ
ノデアリマスカラ正誤トハ申シマセヌ單ニ削除ト申シマス、諸君、此案ハ法
律改正案デアリマスガ至ッテ短イモノデ御承知ノ通僅ニ一項ノ改正デゴザ
イマス、且ツ又一向込入タル事柄デモナク言ハハ極メテ簡單ナモノデ先刻朗
讀ニナツタ所即チ諸君モ御持參ニナツテ居ルダケノ僅ノ條數デアリマス、御承
知ノ通議院法第十九條ハ元ト四項ヨリ成立ッテ居リマス、其第一項ト申シマ
スルモノハ旅費ト歳費ト事ヲ規定シテアルノデアリマスガ、ツレバ今此改
正案デハ二項ニ分ッテ別々ニシマス、ツレ故ニ第一項ガ二項ニナリマス、元

ノ一項ヲ二項ニ分ケテ改正シタイト云フノデゴザイマス、サウシテ其要點ト
申シマスルモノハ貴族院令第一條ノ第三第五即チ伯子男爵議員多額納稅議員
ノ歳費ヲ廢スルコト、ツレト公侯二爵ノタメニ是マデ旅費ガ規定シテアリ
マセヌガツレヲ加ヘルト斯ウ云フ要點ニ過ギマセヌ、衆議院ニ於テハ勿論何
等ノ關係モ有チマセヌ、又貴族院ニ於テモ其他ニハ何等ノ關係モ有タヌ、至ッ
テ手短ナ譯デアリマス、此案ノ提出ノ理由ト申シマスルモノハ是レ亦別ニ
窮屈ニ理窟ガマシイコトハナク至ッテ平凡極メテ無事ナ單純ナモノデアリマ
ス、ツレデモ一ト通説明致シマスデアリマセウ、諸君、御承知ノ通此貴族院
ト云フモノハ憲法第十三條ニ「貴族院ハ貴族院令ノ定ムル所ニ依リ皇族華族
及勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス」トアリマシテ、サウシテ貴族院令第一
條ニ議員ノ組織ト云フモノヲ詳カニシテアル、即チ一ヨリ五ニ至ル、ツレヲ
何カト申セバ、一、皇族、二、公侯爵、皇族ハ敢テ申シマセヌ、公侯爵ハ是
ハ歳費ガ無イト云フコトニナツテ居ル、三、伯子男爵、四ハ勳勞アリ學識ア
ル者ノ勅選ナリマシタル議員、五ハ多額納稅議員、是ハ趣意バカリヲ摘ンデ
申シマシタノデ、成文ハ勿論御承知ノ通、多額納稅議員ナリ勅選議員ハモウ
少シ長ク書イテアリマスガ其趣意ハ右ノ如ク五ツニナツテ居リマス、即チ此
三四五ノ伯子男爵議員勅選議員多額納稅議員、此三種ノ人ニハ同様に歳費ト
云フモノガ渡ルコトニナツテ居リマス、ツレ故ニ今ノ現在ノ議院法ト云フモ
ノデ、同ク華族ニシテ一ハ歳費ガ有リ一ハ歳費ノ無イ者ガアル、斯ウ云フ譯
ニナツテ居リマス、元來伯子男爵ト申シマシテモ公侯爵ノヤウニ丁年ニサヘ
ナレバ議院ニ列スルコト云フ特權ハゴザイマセヌガ併ナガラ此爵ヲ有シテ居ル
人ハ皆盡ク議員ニ選バル、所ノ特別ナル權利ヲ固有シテ居ル譯デアリマス、
ツレ故ニ五分ノ一ト云フ數即チ伯子男爵ノ數ノ五分ノ一ト云フモノハ同爵者
ニ推選セラレテ此貴族院ニ列スル所ノ榮譽ヲ持ッテ居リマス、是ハ本員等ガ
考ヘテ見マスルト、ツレハ非常ナル特權デアラウト思ヒマス、又格段ナル名
譽デアルト信ズルノデアリマス、我々華族ガ帝室ノ特別ナル御待遇ヲ受ケマ
スル如キハ敢テ此條ニ論ズル必要ハゴザイマセヌガ帝國議院ニ席ヲ占メテ立
法ノ大權ニ參與シ國家ノ生存若クハ盛衰興亡ニ關スルヤウナ法律ヲ議スルト
云フコトハ是ハ餘程ノ特權デアラウト思フ、是ノ法律ハ可決スベシ、是
ノ法律ハ宜シク廢セザルベカラズ或ハ内閣大臣ノ施政其宜シキヲ得ヌ、是ハ
責問シナケレバナラヌ、或ハ天下ノ政道其宜シキヲ得ヌ、陛下ニ奏上セザル
ベカラズト云フ如キ點ト云フモノハ如何デアリマセウ、是ハ非常ナル特權デア
ラウ、凡ソ人生ノ榮譽名譽トシテ殆ド之ニ類スルモノハナイト云フデモ宜カ
ラウト本員等ハ信ジマスノデアリマス、ツレモ國家ニ大勳勞ガアッタ人トカ
又ハ學識衆ニ擢ンデタト云フ譯ヲ以テ忝クモ勅選ヲ被ッテ此議場ニ列セラル
ル御方ハツレハ格別デアリマス、併ナガラ唯華族ノ家ニ生レタト云フダケヲ
以テ五人ノ一人ト云フ多數ガ選バレテ此議場ニ列スル名譽特權ト云フモノハ
實ニ是ハ特別ナモノデアラウト考ヘルノデアリマス、又多額納稅議員、是等

モ一府縣數百人ノ中ヨリ僅々十五人ト云フ多額納稅者ヲ選出シテ其中カラ一人ヲ選出シテ貴族院ニ列スル、是モ殆ド貴族ニ次グ所ノ特權名譽デアッテ言ハハ無窮ノ華族ト云フモ差支ハナイデアラウト思ハレルノデアリマス、今申シマス通非常ナル特權名譽アル者ガ僅ニ一箇年ノ中ニ二箇月ヤ三箇月、此貴族院ニ出マシタトテ別ニ報酬ノ歳費ヲ受ケネバナラヌト云フ道理ハ決シテアルマイト思ヒマス、寧ロ此特權名譽ニ對シテハ歳費ヲ得ヌコソ却ッテ名譽デアラウト思ヒマス、全體人間ト云フモノハ利害ノ考バカリデハ濟マヌモノデアリ利己主義バカリヲ考ヘテハ濟マヌモノデアリ、殊ニ社會ノ上流ニ居ル者ハ申スマデモナク義務トカ道義トカ云フコトヲ心ニ置イテ己ノ取リ前ガ少ナクナラデモ義務トカ德義トカ云フコトニハ眼ヲ著ケナケレバナラヌ、是ハ言ハズトモ社會ノ上流ニ居ル者ノ責任デアラウト思ヒマス、神聖ナル此議場ニ列スル者ガ歳費ガ欲シイト云フバカリヲ以テ議員タルコトヲ欲スル者ハ有ルマイ、又ハ歳費ガ無ケレバト議員タルコトヲ避ケ嫌フ譯モアリマス、依ッテ歳費ノ有無ハ本員等ノ考ニ於テハ別ニ此貴族若クハ多額納稅ノ議員ニ於テ決シテ關係ハ有タナイモノデアラウト信ジテ居ルノデアリマス、少ナクトモ是位ノ德義心ハ華族ヤ地方多額納稅家ノ頭ニハ充分アルコトデアラウト思ヒマス、別ニ歳費ガ無イ、歳費ガ無イニ依ッテ議員タルコトヲ好マナイ、歳費ガ有ル、歳費ガ有ル故ニ議員タルコトヲ好ムト云フ卑劣ナル考ハ少ナクトモ華族社會若クハ地方上流社會ノ人ノ頭ニハナカラウト思ヒマス、傍ラ各國ノ例ヲ考ヘテ見マスルト共和國ハ特別ト致シマシテ帝王國ノ上院ト云フモノハ大概歳費ハ無イ趣デアリマス、唯僅ニ旅費或ハ日當ノ如キモノガアリ或ハ鐵道ノ無賃乗ト云フ特權ガアル、伊太利ノ如キハサウダサウデス、概シテ帝王國ハ歳費ト云フ如キモノハ無イ趣デアリマス、斯ク申シタナラバ反對者ハ或ハ英國ハドウデアアル、昔カラ歳費ハ無カッタジャナイカ、ソレヲ近年ハ年々歳々ニ歳費ヲ付ケナクテハナラヌト云フ斯ウ云フ議論ガ議場ニ出ルデハナイカト言ハレルデアラウ、併シ却ッテ是ハ我々ノ方ノ利益ニナルコトデ反對者ノ議論ニハ益ヲナサヌ、何トナレバ英吉利ニハ年々歳々歳費ヲ付ケロト云フ議論ガ出テツレガ潰レルノデアアル、毎年潰レルノヲ見ルト、英國ノ議院ハ歳費ヲ付ケルノハ惡イト認メテ居ルニ相違ナイ、是ハ我々ノ議論ヲ確メタルメニハナルガ、反對ノ方ノ御議論ノタメニハナルマイト思ヒマス、別ニ外國ノ例ヲ引ク必要モアリマセケレドモ一言右等ヲ玆ニ申副ヘテ置クヤウナコトデアリマス、今ヤ我國家ハ如何デアリマス、甚ダ多事デアッテ非常ニ經費ヲ要スル譯ニナッテ來テ、戰後ノ經營トシテ國民ガ俄ニ非常ノ重稅ヲ負擔セネバナラヌ、從來ニ比シテ見レバ三分ノ一モ多ク租稅ヲ負擔セネバナラヌト云フコトハ即チ今日政府カラ提出ニナッテ居ル所ノ諸議案デ諸君モ御承知デゴザイマセウ、ソレ故ニ人民ハ一子ヲ生シデモ稅、父母ヲ喪シテモ稅、何ニ就イデモ稅々ト云フ譯ニナリ到ッテ居リマス、實ニ鉢盂分毫ノ末マデモ稅ヲ課セネバナラヌト云フガ今日ノ有様デアアル、斯カル時期ニ際シテ

華族若クハ殆ド華族ト其性質ヲ同ジウスル所ノ多額議員如キガ其特權名譽ニ對シテ歳費ヲ廢シタカラト申シテモ何モ珍重スルコトモナケレバ何モ譽ムベキ程ノコトハナイ、勿論當然、當リ前ナコトデ、一向詰ラヌ珍重スル程ノコトハナイ、極メテ當リ前ノコトデアラウト思フノデアアル、ヨシヤ其金額ハ僅ニモ致セ國庫ノ歲入ニ比スレバ九牛ノ一毛ニモ致セ、眞意ヲ表シ誠意ヲ顯ハスニ於テハ決シテ多少ハ論ズルニ及バナイ、何モ少イカラト云フテ妨ゲハナイ、何デ僅々ノ金デモ煩ヒハナイ、チツトモ遠慮ニハ及バヌ、少クテ結構、多ケレバ宜シイガ、少クテモチツトモ嫌ヒモナケレバ障リハナイ話デアアル、以上ガ本案提出ノ理由デアリマス、願クハ諸君ノ贊成ヲ得テ此案ヲ通過シタク考ヘマス、今日ハ平生ヨリモ諸君ノ御出席ガ多クテ誠ニ本員等ハ喜ブ、此案ハ國家ノ重大ノ問題トハ本員等ハ考ヘマセヌケレドモ、政府委員ヲ兼テ居ラル、御方ガ御出席ノ多イノハ發議者ノ我々ノ面目デアアル、甚ダ諸君ハ御世話シイノニ態ニ此案ヲ贊成ナサルカ反對ナサルカ知リマセヌガ實ニ本員等ノ面目ト致ス所デアアル、本員等ハ左程國家ノ大問題トハ考ヘテ居ラヌ、尙ホ一言スベキ事ガ有リマス、此多數ナル諸君ノ中ニハ勿論反對ノ御論者モ澤山有リマセウカラ其御議論ヲ承ラナケレバドンナ御議論デアアルカ分ラヌガ、一二推測ヲ致シテ見マスルト先ヅ色々ノ御議論ガアラウト思ヒマスガ、憲法連關トカ云フ問題ガ或ハ有ルカモ知レヌ、若シ有リトスレバ斯ウ云フコトヲ言ハル、デアラウ、此議院法ト云フモノハ憲法ニ附帶スル法律デアアル、法律中特別ニ是ハ重シズベキモノデアアル、故ニ輕々ニ之ヲ改正スベキモノデナイ、之ヲ輕々ニ改正スレバ自然憲法マデモ重カラザラシムルノ煩ヒガアル、斯様ナ御議論ガ出ルカモ知レヌ、果シテ此御議論ガアリトスレバ、實ニ是ハ淺薄ナル御議論デアアル、勿論憲法ト議院法トハ同日ニ發布セラレタ、ソレハ誰モ知ッテ居ル通即チ明治二十二年二月十一日ニ法律第二號トシテ議院法モ出テ居ル、ソレハ其答デアアル、憲法ガ出ナイ前ニ議院法ガ有ルベキモノデハナイ、又憲法ガ出タ以上ハ議院法ハ無クテ協ハヌ、ドウシテモソレト是ト同時ニ出ベキモノデアアル、併ナガラ同日ニ出タカラト云テ憲法ハ連帶ノモノデアルト云フノハ譯ノ分ラヌ議論デアアル、凡ソ憲法發布ニナッテ天下ノ法律ハ此憲法ニ基カナイ法律ハ無イ、基カナケレバ法律トハナラナイノデアアル、故ニ決シテ是ハ憲法ト別段ニ關係ヲ以テ居ル譯ハナイ、總ベテノ法律ガ憲法ニ關係ヲ以テ居ルニ相違ナイ、或ハ又反對論者ハ斯ウ云フコトヲ言ハル、カモ知レヌ、公務ヲ奉ズレバ相當ノ報酬ノ有ルノハ當リ前ノコトデアアル、即チ報酬論デアアル、公務ヲ奉ズル者ハ相當ノ報酬ガ無クテナラヌ道理ノモノデアルト斯ウ云フコトヲ言ハル、カモ知レヌ、サウシテ其理由トシテ國家ノタメニ公務ヲ奉ズル者ハ、其勞力時間及職務上ノ費用ニシテ國家ヨリ報酬ヲ受クルノハ當リ前デアアル、ソレハ昔法理ノ詳カナラヌ時分、或ハ公私ノ區分ヲ判別セズシテサウ云フ區別ガ立タナカッタコトモアラウガ、兎モ角モ今日ニ於テハ公務ヲ奉ズル者ハ必ズ相當ノ報酬ガ有ルベキモノデアアル、斯ウ云フ反對論ガ出ルカモ

知レヌ、是ハ亦實ニ愚論極マル、是ニハ一言御答スレバ極ク分ル、諸君ノ前ニ座テ居ル所ノ此公侯爵ハ如何デアリマセウ、是ハ公務ヲ執ラレハアリマセヌカ、公侯爵ノ二三ノ御方ハ諸君中ノ多數ヨリ最モ多ク公務ヲ執テ居ル方ガ有リマス、ソレハ名指サズトモ必ズ諸君ハ御存知デアリマセウ、此御方ニハ報酬ハ無イデハゴザイマセヌカ、斯ク申シマスレバソレハ世襲シヤト仰セラル、カモ知レヌ、併シ世襲デアツテモ職務ヲ奉ズルノハ職務ヲ奉ズルニ相違ナイ、其論カラ言ヘバドウシテモ此論者ハ公侯爵ニ歳費ヲ給スベシト云フ議論ヲ提出シナケレバナラヌガ何故其勇氣ガナイカ、我々ハ解シ能ハヌ所デアル、又ソレハ扱措キマシテモ、東京府ノ參事會員若クハ府縣會議員ハ如何デアリマセウ、是モ僅カ車料トカ辨當料ト日手當デアル、是ハ世襲デモ何デモナイ、縣會議員ノ世襲府縣會議員ノ世襲ト云フコトハ聞イタコトハナイ、右ノ外ニモ亦反對論ガアリマセウ、此伯子男爵ノ歳費ヲ廢シタナラハ華族中ノ議員タルモノハ金満家ニナツテ仕舞フ、金満家ニアラザレバ議員ニハナレナイ、金満家ノミニナツテ仕舞フタナラバ議員ノ名望ヲ借ッテ私慾ヲ逞ウスル斯ウ云フ憂ガアル、是ハ私ハ杞憂ト思フ、昔天ガ落ルト云フテ非常ニ憂イタ者ガ有ル、即チソレト同ジク杞憂論者デアル、今一ツハ氣樂論者、或ハ是ハ暴論者ト附ケテモ宜イ、有リトスレバ、有ルカ無イカ知レヌガ、是ハドンナコトヲ言フカト言ヘバ今や我邦ノ富ノ増進ハ非常ナモノデアル、十年前ニ比シテ輸出入ハ四倍多クナツテ居ル、商業上約束手形交換手形ハ五倍ニモナツテ居ル、此割合ヨリ言ヘバ租稅モ四五倍取ツテ宜イ、ソレデアルノニ三分ノ一ツコラノ租稅ト云フノハ元來取り方ガ少イノデアル、斯ウ云フ目出度イ御繁昌ナ世ノ中ニ歳費杯ヲ廢シテ國庫ニ入レルト云フノハ是ハ元來不祥ノ議論デアル、斯ウ云フ御論ガアルカモ知レヌ、實ニ右ニ二論ト云フモノハ馬鹿々々シイ論デアリマスガ、是ガ反對論ニ出ルカモ知レヌ、何故出ルカモ知レヌト云フカト言ヘバ、現ニ此一冊デアリマス、此一冊ハ半紙ニ六枚許リアリマス、標題ハ貴族院議員伯子男爵及多額納稅議員ノ歳費ヲ廢スルノ論ヲ不可トスル論、其理由ト云フモノハ是ハ蒔蒔版デハナイ、蒔蒔版ニナツテ議院ノ中ヲ飛ンデ居ルカモ知レヌ、シテ見マスレバ斯ウ云フ馬鹿々々シイ議論モヒヨツトシテ出ルカモ知レヌ、ソレハ皆シナ此六枚ト云フモノハ大概今申シタヤウナ私ノ杞憂論若クハ氣樂論ノヤウナコトガ六枚ト云フモノニ馬鹿ナ話ガ書イテアル、諸君ハ必ズ御承知デアリマセウ、私ノ所ヘモ何處カラ飛込シテ來マシタ、ソレ故ニ餘リ馬鹿々々シイケレドモ是ハ即チ本案ニ對スル反對ノ理由トシテ廻ハツテ居ルモノト言ヘバ一言申シテ置カナケレバナラヌ、如何ナル人ガ如何ナル演說ヲシマシタナラバ尤モラシク聞エルデアラウカ、本員等ハソレヲ拜聴シタイ、斯ウ云フ馬鹿々々シイ論ハドウ云フ人ノ口カラ出テ尤モラシク聞エルカ、後ニ出ルナラソレヲ拜聴シタイト思フテ待ッテ居ル、マダ可笑シイコトガアル、最モ笑フベキコトデアル、此中デスヨ、歳費ヲ廢スレバ共和主義ニ近クナツテ來ル、ドウモ分ラヌ、如何ニ日本ガ勤王國デ共和ト

云フ字ハ口ニ出スコトヲモ思ム國トハ申セ歳費ヲ廢スレバ共和國トナルト云フ議論ハ餘リ甚シイ議論デアル、マダ可笑シイコトガ有ル、金満家ニハ人物ガ少イ、極貧者ニモ人物ガ少イ、中位ノ所ニ人物ガ多イ、是マデハ宜イ……若モ議員ノ歳費ヲ廢シタナラバ利口ノ者ハ丁度八百圓位ニ満足スル人デ、中等ノ人物ガ宜シイ議員デアル、斯ウ云フ議論ガアル、如何デゴザイマセウ、諸君是ハ何ト御考ニナリマスカ、言語道斷笑止千萬ナコトデ是ハ實ニ御挨拶ガ出來ヌ、マサカニ斯ノ如キ不理窟ナコトヲ以テ此反對論ヲ主張サレトモ思ヒマセヌニ依ツテ是等ニ對シテハ議場ノ神聖ヲ侵ス嫌ガアリマスル故ニ豫メ論辯ヲ致シ置イタノデアリマス、本員ハ發議者ノ一人トシテ又同論者多數ノ代表者トシテ此演說ヲ試ミマシタガ足ラヌ所ガアツタラ幸ニ同論者諸君ヨリ御補足下サイマセ、又通告者モ反對論ノ通告者モ有ルサウデアリマスカラ模様ニ依リマシテハ再ビ此演壇ニ出テ諸君ノ清聴ヲ汚スコトモアリマセウト思ヒマス

○子爵酒井忠彰君 一寸曾我君ニ御尋ヲ致シタウゴザイマス、唯今發議者ノ一人トシテ縷々御述ニナリマシタノニ或ハ本員ノ耳ノ遠イセイデアリマシタカ隨分混淆シタ御説ノヤウデヨウ分ラナイ場合ガアリマシタ、併シ議論ニ涉リマスカラ唯曾我君ノ反對者モ無イノニ邪推論ト認定シテ置イテ其事ハ御尋ヲシナイ、更ニ私ガ御尋ヲシタイト云フノハ上來ニ於キマシテ御述ニナリマシタ言ヤ華族其者ハ五箇ニ分レテ其二箇ハ世襲議員デアル、其他伯子男ト云フモノハ同爵者五分ノ一ノ互選ヲ以テ貴重ナ貴族院ノ議員トナルコトガ得ラル、隨ッテ多額納稅者ノ如キモ一縣下ノ數百萬人ノ内ヨリ其多額ノ租稅ヲ納メル所ノ十五名ト云フモノヲ選ンデ其中ヨリ致シテ一人選バレル者デアルカラシテ實ニ是ヨリ……名譽ノ點ヨリ言ッタ所ガ大ナル名譽デアル、一方ニ向ッテ或ル場合ニ於テハ 陛下ニ上奏スルト云フコトモ出來ル、又法律ヲ左右スルコトモ出來得ラル、此ノ如ク議員ハ貴重ノ榮譽ヲ與ヘラレテ居ルニモ拘ラズ歳費ヲ受クル杯云々ト云フ此ノ如キ御演說デアリマスガ、サウシテ見マスルト此何デゴザイマスルカ、御尋致シマスル主意ト申シマスルモノハ此三箇議員及多額納稅議員ハ即チ名譽ノ議員デアツテ勅選議員及衆議院議員ハ名譽デナイカラ歳費ヲ得テモ相當デアルト云フ主意デアリマスカ、ドウモソコノ所ガ明瞭致シマセヌカラソレヲ御尋致シタイト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 分リマシタ、議院法……イヤ議院法シヤナイ貴族院令デマス、貴族院令ノ第一條ヲ若シ御持合セナラバ御覽下サイ、御持合セガナケレバ申シマセウ

〔子爵酒井忠彰君「持ットリマス」ト述フ〕

第一條ノ第四ノ勅選議員ト云フモノハ「國家ニ勳勞アリ又ハ學識アル者ヨリ特ニ勅任セラレタル者」ト斯様ニアリマス、特別ニ是ハ勅選セラレタル者デアツテ 陛下ノ御目鑑ヲ以テ御選ミ遊バサレタ所ノ者デアル、是ガ御合點ガイキマシタラ別ニ多言ヲ煩ハサズシテ分リマセウ

〔子爵酒井忠彰君「衆議院ハ如何デスカ」ト述フ〕

衆議院ハ勅選議員デハアリマセヌ

〔子爵酒井忠彰君「衆議院議員ハ如何デアルカト云フコトヲ御尋致シマス」ト述フ〕

衆議院議員ハ歳費ガ無クテハイカヌト仰セラレルノデスカ

〔子爵酒井忠彰君「歳費ノ點ニ附キマシテ……」ト述フ〕

衆議院ノ議員ハ人民ガ選ンダ所ノ者即チ人民ヲ代表スル所ノ者デアリマス、申スマデモナク是ハ榮譽デナイトハ云ヒマセヌ、併ナガラ是ハ御存知デアリマセウガ日本ハ四千万ノ人間ガ居リマス、衆議院議員ハ二百人デアリマス、デ概數四千万人カラ三百人ヲ選ムモノデアリマス、多額納稅者モ同シク人民カラ選バレマスケレドモ是ハ十五人デ一人ヲ選ブ譯デアアルカラ大ニ違タモノデアアルデアリマセヌカ、是ハ御分リニナリマセウ

〔子爵酒井忠彰君「ドウモ少シモ分リマセヌ、明瞭ナ御答辯デナイ、勅選議員ハ即チ國家ニ功勞ガアルカラ此者ニ歳費ヲ與ヘテ置イテモ相當デアル……」ト述フ〕

イヤ國家ニ功勞アル者ニ與ヘルハソレハ勳章年金デアリマス、勳章年金ハ國家ニ功勞アル者ガ實フ所ノモノデアリガ言フノハ……

〔子爵酒井忠彰君「左様ナコトヲ御尋スルノデハナイ」ト述フ〕

マア私ガ言フコトヲ聽イテ貰ハナイト錯雜シテ困ル

〔子爵谷干城君「ソナナコトハ辯ズルニ及バヌデヤナイカ」ト述フ〕

併シ分ルダケハ分ラシテ置キタイカラ辯ズルガ、餘リ分ラヌナラモウ……

〔子爵酒井忠彰君「自分ガ分ラナイノダ」ト述フ〕

勅選議員ト伯子男爵議員トドレダケ違フカト云フ御話デスカ

〔子爵酒井忠彰君「衆議院ノ議員ハドウシテ歳費ヲ置クカ、マダ此事ニ附イテハ可否ハ申シマセヌガ或ハ歳費ガ無イノガ至當デアルカ、マダ

述ベハ致シマセヌ、唯疑フノデアリマス」ト述フ〕

私ガ云フノハ衆議院議員ヤ勅選議員ハ別デ、華族ト云フモノハ特ニ違ッテ居ルト言フノデアリマス、特ニ華族ト云フ者ハ違ッテ居ル、ソレ故ニ歳費ハ遣ラヌデ宜シイト云フノデアリマス、取ッ摘ンデ言フト華族ト衆議院議員トハ性質ガ土臺違フテ居ルデアリマセヌカ、華族ト衆議院議員トハ其議員ト云フ點ニ於テハ違ハナイケレドモ其性質ニ於テ違ッテ居ルコトハ言ハヌデモ分リマセウ

〔子爵酒井忠彰君「歳費ヲ遣ラヌト云フ理由ガ分ラヌ」ト述フ〕

ソレハ特別デアアルカラ

〔子爵酒井忠彰君「ソレハ特別ト云フコトニカヅケルノデ、議論ニナリマスケレドモ衆議院ノ議員ハ即チ人民ノ選ンダ者ト云フコトデアアルガ、華族モ矢張帝國ノ人民デアリマス、大小ノ差ハアリマスケレドモ……」ト述フ〕

〔辯ズベカラズ〕ト述フル者アリ

○議長「侯爵蜂須賀茂韶君」御靜ニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君「ソレナラ茲デ御演説ニナッダラ又私モ反駁致シマセウ、諸君モ餘リ騒々シイト言ハレルシ議長カラモ靜ニセイト言フコトデアアルカラ順序ヲ以テ此次ニ御登壇ナサルコトヲ望ミマス

〔子爵酒井忠彰君「御答辯ガ御出來ナサラナケレバモウソレデ宜シウゴザイマス」ト述フ〕

〔子爵舟橋達賢君「酒井子爵ノ登壇ヲ希望ス」ト述フ〕

〔清浦奎吾君演壇ニ登ル〕

○清浦奎吾君「本員ハ此案ニハ反對即チ貴族院議員中伯子男爵及多額納稅議員ノ歳費ハ廢スベカラズ、法律ニ於テ一旦議員ニ與ヘラレタル所ノ權利利益

ト云フモノハ頗ル重大且ツ緊要ナル理由アルニアラザレバ容易ニ之ヲ奪ヒ容易ニ之ヲ剝グベカラズト云フ論者デアアル、唯今會我君ハ何カ弱點ヲ指トカ何トカ云フヤウナ事柄ヲ舉ゲテ段々御論ジニナリマシタガソレハ何ノコトカ私ハ知リマセヌガ私ハ唯今會我君ノ論セラレマシタ趣旨ニ附イテ少シク議論ヲ試ミタイト思フ、第一此案ト云フモノハ誠ニ簡單ナル案デアッテ左程重大ナコトデモナイト斯ウ曾我君ハ仰セラレタ、本員ニ取ッテハ決シテサウハ思ハナイ、是ハ頗ル重大ナ問題デアアル、ト云フ所以ノモノハ即チ曾我君モ申サレタ如ク議院法ト云フモノハ憲法附屬ノ法律デアアル、貴重ナル憲法附屬ノ法律ト云フモノハ容易ニ改正スベカラザルモノデアアル、之ヲ改正スルニ附イテハ頗

ル重大且ツ緊要ナル理由ガナクテハナラヌ、然ルニ今果シテ唯此點ノミニ附イテ貴重ナル議院法ヲ改正スベキノ理由ガアリマスカ、今果シテ改正ヲ試ミナケレバナラヌ時機デアリマセウカ、唯今會我君ハ有爵議員ト云フ者ハ社會ノ上流ニ立ツ所ノ者デアアル又多額納稅議員モ地方ニ於テ巨万ノ財産ヲ有スル者デアアル、今日ノ如キ場合ニ於テ是等ノ議員ガ歳費ヲ受ケヌト云フモノハ德義上當然ノ話デアアルト云フ斯ウ御話デアリマス、然ルニ唯今酒井君カラ質問

ガゴザリマシテソレニ御答ニナル點ニ附キマシテハ私ハ更ニ其要領ヲ得ナイト思ヒマス、衆議院ノ議員ハ四千万ノ人民ヨリ選舉サレマシタ者デアアルトカ或ハ有爵者ハ互選ニ係ッタ者デアアルトカ云フ御區別デアッタト伺ヒマスガ、公選ニモセヨ互選ニモセヨ法律上均シク他人ヨリ選舉セラレタニ相違ナイノデアリマス、他人ヨリ選舉セラレテ其選ニ當ッタ者ハ其選ニ應ジテソレダケノ職責ヲ盡サネバナラヌト云フソレダケノ義務ノ有ルモノデアリマス、ソコニ至ッテハ衆議院ノ議員ト雖モ貴族院ノ議員ト雖モ別ニ異タルコトハアリマセヌ、又貴族院ノ議員ハ大變ニ特權ヲ有シテ居リ大臣ヲ彈劾スルコトモアリ

或ハ斯ノ如キ法ヲ設クベシスノ如キ法ヲ改ムベシト云フヤウナ非常ナ特權ヲ有スルモノデアリ且ツ名譽ノモノデアアルト云フ御話デアッタガ其點ニ至ッテハ上下兩院ノ間ニ於テ決シテ輕重軒輊アルコトナシ、或ル點ニ於テハ輕重軒輊ガナイケレドモ豫算ノ如キモノニ附イテハ却ッテ衆議院ノ方ガ先權ヲ有

シテ居ルコトアリマス

(子爵曾我祐準君「私ハ輕重ガアルトハ申シマセヌ一寸……」ト述フ)

故ニ貴族院ノ議員ト衆議院ノ議員トニ附イテ歳費ノ給否ヲ異ニスル理由ハ違ハヌデアラウト思ヒマス、ソレカラ公侯爵ノコトガ引イテゴザイマスガ是ハマルデ法律上資格ガ違フノデ、公侯爵ハ仰セラレタ通、世襲議員デ即チ法律上成年ニ達スレバ當然議席ニ著キ得ラル、所ノ者デアッテ他人ノ選舉ヲ待タナイ所ノ者デアリマス、假令伯子男爵ニモセヨ多額納稅議員ニモセヨ是ハ他ノ選舉ニ依ッテ其選舉ニ應ジテ法律上職責ヲ盡サネバナラヌ義務ヲ有ッテ居ルモノデアリマス、故ニ公侯爵ニ歳費ヲ無イト云フ事例ヲ引イテ伯子男爵多額納稅議員ニ歳費ヲ給スベカラズト云フ御議論ハ更ニ贊成スルコトハ出來ナイ、我邦ニ於テハ今日ハ戰後ノ經營トシテ非常ナル國費ヲ要スルコトハ是ハ我ト雖モ曾我君ノ御認メト同様ニ考ヘテ居リマス、サリナガラ我邦ノ今日ノ經濟ノ有様ト云フモノガ議員ノ歳費マデ廢止シナケレバナラヌ場合カト云フニ決シテサウ云フ經濟ノ現況デハナイ、是ハ私ガ統計杯ヲ擧ゲテ茲デ申上グズトモ少シ經濟ニ眼ヲ御注ギナサル御方ハ勿論能ク御分リニナルデアラウト思ヒマス、或ハ何カ社會ノ上流ニ立ツ所ノ者ハ歳費ノ如キモノヲ受ケズシテ其精神ヲ見ハスト云フヤウナ語氣モゴザイマシタガ是ハ上流ニ立ツ者ダカラシテ歳費ヲ受ケズシテ幾分カ人民報國ノ義心デモ惹起サウト云フ意味合モ暗ニアルカノ如ク伺ヒマシタ、併ナガラ封建時代ニ於テ諸侯方ガ各藩々ヲ統治セラレタ時デアッタ上ツ方ヨリ何カ手本ヲ出シタラ一藩風ヲ聞イテ起ルト云フコトガアルカモ知レヌガ今日ノ時勢ト云フモノハ貴族院ノ伯子男爵多額納稅議員ノ歳費ヲ廢シタメニツレニ依ッテ或ハ人民ノ報國心ヲ起ス杯ト云フヤウナコトハ決シテ無イ、成ル程此歳費マデモ廢シヤウ受ケマイト云フ其精神ニ至ッテハ誠ニ是ハ美ナル御考デ本員ニ於テモ其御精神ニ至ッテハ實ニ敬服スルデアリマス、サリナガラ貴重ナル憲法附屬ノ法律ヲ改正シテ議員ノ歳費ヲ廢止セヌナラヌト云フ必要ト云フモノハ今日ハ更ニ無イノデアル、或ハ本案ノ如キモノニ對シテハ何カ伯子男爵並ニ多額納稅議員デハ反對デモスレバ卑劣ラシク見エ之ニ贊成致セバ誠ニ潔白ナヤウニ見ユル、斯ウ云フヤウニ人情トシテ御考ガアルカモ知ラヌ、ケレドモ我々議員ガ法律ニ依ッテ授ケラレタ所ノ特權ニ依ッテ法律ヲ議スル時ニ當ッテハ我々一身ニ係ル利害ト云フモノハ顧ミズシテ我々一身ヲ暫ク利害ノ外ニ置イテ御考ヘニナラヌケレバナラヌト云フコトハ論ヲ俟タヌコトデ、即チ之ヲ廢スレバ利益ヲ失フデアラウト云フ御考ヲ御持チニナル御方ハ決シテ有ルマイト思ヒマスガ、又一方ニハ斯ノ如キ案ニ贊成ヲ表セヌケレバ卑劣ニ見エ反對スレバ潔白デナイト云フ御考ヲ持ツノハ均シク公平ヲ失フタルコトデアラウト思ヒマス、本案ニ對シマシテハ別段左程多ク申ス程ノ理由ハナイノデゴザイマス、私ノ主トシテ不同意ナル點ハ今日ニ於テ憲法附屬ノ議院法ヲ改正セヌケレバナラヌト云フ緊要且ツ重大ナル理由ヲ見出スコトガ出來ヌニ依ッテ即チ此提出案ニ反對ヲ

表スル次第デゴザイマス

○侯爵醍醐忠順君 議長

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 醍醐侯爵ニハ御質問デゴザイマスカ

○侯爵醍醐忠順君 イヤ反對デ此……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 通告ガゴザイマスニ依ッテ暫ク御待チナサイ、村上君

(村上桂策君演壇ニ登ル)

○村上桂策君 私人本案ニ贊成ヲスル者デゴザイマス、贊成ノ理由ヲ述ブルニ先ダツテ清浦君ノ御説ニ對シテ聊カ意見ヲ述ベヤウト考ヘマス、清浦君ノ反對ヲサル、最モ金城鐵壁トシテ反對ヲナサル點ハ議院法ハ容易ニ改正スベカラズト云フ、一ツニハ歳費ヲ廢シタ所ガ僅々ナモノデアアル、此僅々ナモノヲ廢シテ今日如何程國庫ノ助ケニ爲ルカ、先ヅ大體此二ツガ反對ヲスル重モナ理由ト考ヘマス、私ハ議院法ハ已ムヲ得ズンバ最モ容易ニ改正ヲスベシ、既ニ議院法ノ改正ハ後レタリト云フ論者デアリマス、何ガ後クレタカト申シマスト製鐵費ノ當時如何デアリマシタ、申サズトモ諸君ハ御承知ノ通、皇室ノ御費用ヲ十分一、御省キ遊バサレテ以テ御下付ニナリ又官吏諸士ノ俸給十分一ノヲ納付スル之ニ對シテ貴衆兩院ニ於テハ當時如何ナル考ヲ持ッタデアリマスカ最早我々ハ茲ニ於テ其歲費ヲ受クルト云フコトハ決シテ安ンズルコトハ出來ナイ、依ッテ之ヲ獻納シヤウト、斯ウ云フ評議ガ貴族院ニ於テ諸君御評定ナサレタコトハ決シテ御忘レニナッテハ居リマスマイト考ヘマス、如何センツレハ法律上已ムヲ得ズ獻納スルコトガ出來ザッタノデアアル、之ヲ實行スルツレハ議院法ヲ改正スルヨリ外ハナイノデアアル、其時進ンデ機ヲ見テ改正スベキ時ヲ今日迄其儘ニ至ッタト云フコトハ如何デアアル、其當時ニ於テ議院法ヲ改正シテ愈々皇室ノ御費用モ御省キニナリ官吏諸士モ十分一ノヲ納付スルツレハ云フコトニナル愈々スルノ精神ナラバ其時ニ於テ最モ議院法ヲ改正スル時デアッタ、ツレヲ其儘ニ等閑ニ付シタト云フコトハ今日ニ於テ國民ニ對シテ最モ私ハ安ジナイコト、考ヘル、是レ既ニ時ヲ過シタノデアアル、又今日ハ最モ改正ヲスルノ時デアアル、已ムヲ得ズンバ議院法ト雖モ改正ヲシナケレバナラヌ、今日ハ如何ナル時デアアル、實ニ國ヲ賭シ同胞ヲ殺シ血ヲ流シ其結果又何千万圓ト云フ國民ノ負擔ヲ重クセヌケレバナラナイ今日デアリマセウ、是ハ法律デアリマス實ニ國民ノ負擔ヲ重クセヌケレバナラナイ、是ハ法律デナイトハ言ハレヌノデアアル、實ニ是等ノ法案ト云ヒマスモノハ實ニ重大ナモノデアアル、議院法モ他ノ條トハ違ハヌノデアリマセウ、議員ノ歳費ヲ無歲費ニスルト云フダケノ點デアアル、此議院法ノ改正ト國民ノ負擔ヲ重クナル増稅新稅案何レガ重イト云フノデアアル、私ハ國民ノ負擔ヲ重クナル新稅増稅案ガ尤モ重イト考ヘル、清浦君ノ如キハ鈞鐘ヨリ提灯ガ重シト云フノ御考デアラウト考ヘル、本員ハ鈞鐘重シト云フ議論デアアル、斯ク論ジテ見マスレバ誠ニ清浦君ノ御説ニ對シテ本員ガ攻撃ヲ加ヘタノハ、甚ダ遺憾デ

アル實ニ痛嘆大息ト云フ外ハナイノデアル、又一ツニハ歳費ヲ減シタナラバ
ソレハ聊ナ金額デアル其聊ナ金額ト云フ點ニ附イテハ申スマデモナイ本員
等モ承知ヲ致シテ居ルノデアルケレドモ此國民ノ負擔ノ尤モ輕重ニハ依ラ
スト云フコトハ是ハ論ヲ俟タナイ話デアルケレドモ一ハ方法其宜シキヲ得ル
ト得ザルトニアル、又一ニハ國民ノ感情ヲ審ニスルトセザルトニアルノデア
ル、此問題ハ理論トシテハ提出者ヨリ充分御述ベニナリマシタ先ヅ私共ノ考
デハ聊ナ金額デハアルケレドモ今日ノ場合國民ノ感情ノ上ニ於テ之ヲスルガ
最モ將來大イニ宜シカラウト云フノ考デアル、茲ニ至ッテハ本員贊成ノ理由
ヲ述ベル時ニ論ジマセウト考ヘマス、又一ツニハ清浦君ガ衆議院ト貴族院ト
ハ同様なモノデアル、貴族院ノ歳費ヲ廢スルニ何ゼ衆議院ノ歳費ヲ廢シナイ
ト云フヤウナコトデアル、斯ウ云フ御議論デアル、貴族院ト衆議院トノ異ナ
ルト云フコトハ清浦君ハ御承知ガナイコトデアル、貴族院令第八條ハ未ダ御
朗讀ナサラスノシヤラウカト考ヘルカラ一寸朗讀ヲ致シマス

〔清浦奎吉君「衆議院ノ議員ノ歳費ヲ廢シロトハ言ハナイ」ト述フ〕

本員ノ演說中ニ無斷デ許可モ受ケズシテ不都合ナコトヲ申シマスル止メ
マスルゾ靜ニオシナサイ、貴族院ハ天皇ノ諮詢ニ應ヘ華族ノ特權ニ關ル條
規ヲ議決ス」トアル是ハ衆議院ニハナイノデアル是ガ貴族院ト衆議院トノ違
フ所以ナノデアル、此條ヲ御覽ニナタナラバ先刻御質問ニナタ點モ自ラ御
了解ナラウト考ヘマス、是ガ即チ違フ點デアル、先ヅ清浦君ノ御說ニ對シテ
ハ唯今述ベマシタ三點ノ外ナイト考ヘマス、是ヨリ私ハ本案贊成ヲシマスル
理由ヲ述ベマス、本案ニ對シテハ會我君ヨリ縷々御演說ニナリマシタカラ會
我君ノ御演說ニナリマシタ所ハ成ルベク省イテ私ハ辯ゼヌコトニ致シタウ考
ヘマス、元來此議員ノ歳費ヲ廢スルト云フコトハ決シテ今日私共ノ思立タノ
デハナイノデゴザイマス、第二議會ノ時ハ之ヲ廢シタイト云フコトハ私ノ同
志ハ大ニ評議ヲ致シタノデアル、然ル所第二議會ニ谷子爵ヨリシテ施政ノ方
針一名勤儉尙武其實富國強兵、此建議ガ出マシタカラシテ此建議ガ通過スル
ルナラバ我々思フ所ノ歳費全廢ト云フノ改正案ヲ出シテモ通過スルモノ先ヅ
勤儉尙武ノ建議ハ通ルヤ否ヤ之ヲ見テ以テ後ニ議ルト云フノガ私共ノ考デ
アッタノデアル、所デ谷君ノ提出サレタ勤儉尙武富國強兵ト云フコトニ附イテ
此貴族院議員諸君ハ非常ノ反對ヲサレタノデアル、勤儉尙武富國強兵ニ反對
ヲサル、諸君ニ於テハ決シテ今日歳費ヲ廢スル杯ト云フヤウナ案ヲ出シタ所
ガ到底通過ガ難イ、先ヅ是ハ時機ヲ待ツヨリ外ハナイト斯ウ云フ所ヨリシテ
以テ見合セタ次第デアル、所デ戰爭後今日トナッテハ勤儉尙武富國強兵ト云
フコトハ其當時非常ニ反對ヲセラレタ諸君モ今日ハ大ニソレヲ主張ナサル、
カラシテ最早歳費廢止ノ案ヲ提出スルノ時機ノ到來發シタモノと思フテ今回
私共ガ手ヲ拍ッテ贊成致シタ次第デアル、決シテ本年之ヲ思立タト云フ譯
デハ更ニナイノデアリマス、第二議會ノ時ニ於テ勤儉尙武富國強兵是ガ通過
シタナラバ必ズ之ニ伴フ所ノモノデアルカラ提出致ス、勤儉尙武富國強兵ニ

サヘ反對セラル、諸君ニ於テハ決シテ議員歳費杯ニ反對サル、コトハ無論ノ
コトデアル、之ヲ出スハ實ニ失敗ハ前キニ分ッテ居ルコトハ甚ダ好マヌト云フ
コトデアル、之ヲ得ズ其當時出サナヌタ次第デアリマス、實ニ今日ノ國民負
擔ノ重モナル新稅案ナリ増稅案ナリ是ハ實ニ國民ノ最モ負擔ノ重モナルコト
デ私杯ハ固ヨリ純粹ノ農民デアル、決シテ營業杯ハ是マデ毫モ致シタコトノ
ナイ者デアル、然ル所今回ノ法案ハ營業者其他ノ者ニ對シテ非常ニ負擔ガ重
イ又其實業者ニ就イテ聽イテ見マスレバ隨分其理由ガアルノデゴザイマス、
政府案ハ全然ニ之ヲ贊成スルカ私共ハ最モ今研究中デアル、戰後經濟ノ負
擔ヲ商工ノミ負擔ヲ重クサセテ農民ガ更ニ負擔ヲセヌト云フコトニ至ッテ
ハ如何デアラウ、又營業者其物ノ發達ヲ妨ゲテモ如何ナモノデアラウ、場合
ニ依レバ是マデ國民ノ輿論、地租ヲ減ズルト云フコトデアルケレドモ已ム
ヲ得ザレバ私共ハ或場合ニ於テハ幾分か農民ノ負擔モ重クシテ以テ共ニ戰後
ノ經濟ハ農民モ是非義務ヲ、或場合ニ於テハ果サナケレバナルマイカト云フ
考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、斯ル今日デアリマスルカラシテ以テ先ヅ先キ
ニ聊カタリト雖モ議員ノ歳費ヲ廢シテ國民ノ感情ヲドウカ害セヌヤウニシテ
此戰後ノ負擔ヲ農民ハ農民デ私ハ堪ヘラレヌト云ヒ、營業者ハ營業者デ私ハ
嫌ヒダト云ヒ工ハ工デ私ハ負擔ニ堪ヘラレヌト云ヒ、營業者ハ營業者デ私ハ
カケルヤウナコトガアッテハ實ニ私ハ甚ダ相濟マヌト考ヘル、ドウカ今日ノ
此場合ニ於テ其法ノ宜シキヲ得又國民ノ感情ヲ害セヌヤウニシテ此戰後ノ經
濟ハ程能クシナケレバナラヌト云フノガ是ガ私共ノ腦髓ニ在ッテ之ヲ國民ノ
感情ニ訴ヘ大ニ利アリト云フノガ贊成シタル理由デアル、今地租ヲ増スト云
フノデアリマセヌガ或場合ニ於テハ増サネバナルマイカト云フノ考ヲ持ッ
テ居ルノデアアル、先ヅソレ等ノ豫防線ト云フテモ或ハ宜シイカモ知レマセヌ
先ヅ大體ハ唯今述ベマシタヤウナ次第デアリマス、併シ終ニ臨ンデ一言述ベ
タウゴザイマス、是ハ最モ諸君ノ清聽ヲ煩ハシ且御注意ヲ乞フ點デアリマ
ス、ソレハ外デモアリマセヌ、現内閣デアリマス、現内閣ハ第一言行ノ一致
セザル内閣デアル、第二ハ國民ニ對シテ最モ不親切千萬ナル内閣デアル、此
二點ハ私ガ斷言ヲ致シマス、其ニソヨリシテ及ス所ノ點デアリマス、言行モ
一致セズ國民ニ對シテ不親切ナル内閣デアッテ見マスルチウト國民ノ感情如
何、最モ私ハ害スルモノト思フ、國民ノ感情ヲ害シタナラバ將來國家事業ノ
發達ヲ害スルヤウニナリハシナイカト云フノガ私共ノ最モ憂慮スル點デア
ル、言行一致シナイ國民ニ對シテ最モ不親切ナルト云フコトハ天下公衆ニ向
フテ私ハ斷言ヲ致シマス、此點ニ就イテハ内閣諸公モ決シテ不問ニハ置クマ
イト思フ如何ナル點ニ於テ言行一致シナイノデアアルカ如何ナル點ガ國民ニ對
シテ不親切デアアルカ是ハ固ヨリ私ノ言ニ對シテ内閣諸公ガ上 天皇陛下ニ對
シテ國民ニ對シテ私ノ此ノ一言ニ對シテハドコマデモ質問セヌケレバナラヌ
問題外デハアリマセヌ、内閣ヲ惡ウ言フタ所ガサウ何モ御心配ハアリマセヌ

マア御聴キナサイ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 村上君ニ御注意シマスガ成ルタケ此問題ノ範圍内デ御演説ニナルヤウニ……

○村上桂策君 モウ濟ミマシタ……是ハ理由ヲ述ベ居ルノデゴザイマス、ソコデ國民ノ感情ヲ害セヌヤウニシナケレバナラヌ、内閣ハ國民ノ感情ヲ害シテ居ルと思フ、國民ノ感情ヲ害スル上ハ蓋シ國家事業ノ妨グヲシハセヌカ、之ニ代ツテ貴族院ハドウカ戰後經濟ヲウマクヤラナケレバナラヌノデアアルと思フ、言行一致セザル事ト、國民ニ對シテ不深切ナル事ハドコマデモ本員ニ對シテ内閣諸公ヨリ質問ノアルコトヲ希望スル者デアアル、若シ御質問ガナケレバ本員ノ言フ所ニ對シテ一言ナイト思ヒマス、先ヅ是デ大體理由ヲ述ベマシタ、大ニ本案ヲ贊成致シマス

(兒玉淳一郎君演壇ニ登ル)

○兒玉淳一郎君 諸君、唯今會我子竊竝ニ村上桂策君ノ雄辯ナル御演説ヲ承リ且ツ冗長ナル御理由ヲ承ツテ大ニ本員ハ喜ビマス、併ナガラ本員モ聊カ此議場デマダ子供ノ黃イナ口デゴザイマス、サリナガラ議場ノ一權ヲ有シマスレバ聊カ愚見ヲ提出致シマシテ御意見ヲ煩シタウゴザイマス、且ツ本員ハ至ッテ演説モ下手、誠ニ不辯舌、田舎者デアリマス、此段御容捨ヲ願ヒマス、本員ガ唯今述ベマス所ノ事ハ演説ト申ス程ノ大キナモノデゴザイマセヌ、先ヅ寧ロ御相談位ノ事デゴザイマス、元來本員ハ勤儉說ハ極ク嗜キデゴザイマス、ト申ズハ田舎生レノ者デゴザイマス、サリナガラ國家ノ莊嚴ト云フモノハ先ヅ自分モ欲シテ居リマス、何トナレバ獨リ勤儉ノミデハ國ノ勇ガ立チマセヌ、莊嚴其モノハ國ヲ大キクスルモノデゴザイマス、故ニ勤儉ト同時ニ莊嚴ヲ欲セヌバナラナイ、

(歳費一萬圓ヤルベシト呼フ者アリ)

今此改正法律案ノ理由書ヲ讀ミマス、何ト書イテアル

(ミナ知ッテ居ルト呼フ者アリ)

宜シイ、御分リニナッタ宜シイ、榮譽特權ガアルガ故ニ歳費ヲ廢スル、斯ウ云フ御主意ダ、廢セウト云フ原由ハ何デアアル、國家多事デアアルカラ國費ガ要ルト云フ話、是ガ御議論、熟考スルニ此理由ハ少シク正鵠ヲ失シタカト思フ、加之憲法制定ノ旨趣ニモ少シ當ラヌカト考ヘル、又此全廢シヤウト云フ金高ハ僅ニ十一萬圓ノコトデゴザイマス、自分ハ算盤下手デスガ先ヅ其位デアアル、十一萬圓カラ二萬圓ノ間デセウ、此事ニ附イテ憲法附隨ノ議院法ヲ變ヘルト云フ御話ダ、ガ此事ニ附イテハ我同論者デアッタ清浦君ガ述ベテラレタ通ニ容易ニ此憲法附隨ノ議院法ヲ變ヘルモノデナイ、皆サン御承知ノ通ニ我國ノ憲法ハ他國ノ憲法ト少シク組織ヲ異ニシテ居リマス、ト云フノハ此憲法ヲ立テル時ニ他國ノ弊害ヲ見テ憲法ニ在ルベキモノヲ議院法ニ組込メンダノデ、サウシテ議院法ノ方ハ我ニ議事權ヲ許シテアル、幾ラカ改正スル事ヲ許シテ居ル、ケレドモソレヲ許シテアルト言ッテ之ヲ變ヘルニハ我ニモ餘

程慎重ニセヌケレバナラヌ、然ルニ一時ノ感觸ノタメニ之ヲ變ヘル杯ト云フコトハ以テノ外ノ事ト思フ、ソコデ唯今初メニ申シタ通ニ廢セウト云フ金ハ十一萬圓ノコトデアアル、之ヲ國家ノ費用ニ供サウトシテ之ヲヤルト云フナラバドウモ日本國ハ餘程進マナイヤウニ思フ、私ノ考デハドウモ斯ナ貧弱國ニナツタカト思フテ涙ガ翻レタ、實ニ迷ッテ居ル、昨夜モ一昨日ノ晩モ此事ニ附イテハ考ヘタ、ガドウモ分ラナイ、ドウモ御存ジノ通昨年戰勝ノ結果此國ハ東洋ノ大強國トナツタデアリマスルゾ、且ツ數年前ヨリ全國ノ人民ノ智識モ發達シ財力モ多クナツタ、ソレニ此僅カ十一萬圓ノ金ヲ吝ムノ何ノ彼ノト云フハ以テノ外ノ事ダ、考ヘテ御覽ナサイ、四千萬ノ人民ニ割リ當テ、見ルト三厘程デアアル、本願寺ニ參ル婆サシノ巾著錢程モナイ、タツタ三厘ダ、其位ノ金デグヅノスルコトハナイ、是ハママア小サイ方カラ言ッタデアアルガ又大キイ方カラ言ヘバ三厘デモ集メレバ十一萬圓ニナル、併ナガラ其十一萬圓デ僅ニ水雷艇一隻出來ルカ、出來ハシナイ、水雷艇一隻出來ナイ位ノ金、僅カ十一萬圓ノ金ヲ吝シテ議事ヲサスル準備ノ邪魔ヲスル杯ハ以テノ外デアアル、此金ハ議事ノ準備ノ機械ダ、若シ我國ガ是非トモ此國費ヲ要スルヤウナ場合ナラバ私ハ此日本四千萬ノ人民ハ喜ンデ稅ヲ出スダラウト思フ、貴族院ハ歳費ヲ廢サナクテモ出シマス、斯ウ云フダラウト思フ、ソレハ女房ノ鐵ノ簪デモ造兵ヘ持ッテ行ク、又金ノ簪ハ大阪ノ造幣ヘ持ッテ行クデアラウ、入用ノ金ナラバ、皆奮ッテ出スデアラウ、ソレニ何ゾ此勤儉ノ昔ノ封建時代ノ舊式ノ政策ヲ取ル杯ハ以テノ外ノ事ダ、私ハ古式ノ勤儉說ヨリハ實利的ノ勤儉ヲ好ム、即チ出金ハ入金ノ基トナル、無形若クハ有形ノ實利ガ經濟ノ上ニ現ハレルコトヲ望ムデアアル、若シ此歳費ヲ廢シテ政務調査ヲ議員ニ望ム杯ハ餘程大工ニ器械ノ槌ダノ鑿ダノ取上ゲテ大工ヲセヨト云フノト同ジコトダ、決シテサウ云フモノデヤナイ、我國ノ伯子男、三爵ノ御方竝ニ多額納稅ノ御方ハ固ヨリ御大名様ヤ御公家様ヤ田舎大盡ノ大キナ金持——大盡様ハ政府ノ大臣デハナイガ……其御方ハ御財產ニ比較シテ見タラ八百圓ハ滄海ノ粟ノ一粒カモ知レヌ、ソレハサウト思フテ居ル、サリナガラ是ハ或ハ政府ノ政ヲナサリ、調査ヲナサルコトニ附イテ御費用ノ萬分ニナラヌトモ言ヘナイト云フモノハ人間ノ境涯ハ今日ハ金持デ明日ハ貧シウ、今日ノ淵ハ明日ハ瀨是ハ人間ノ免レザル境涯デアアルト云フコトハ是ハ皆サン御承知デゴザイマセウ、又此理由ヲ裏面カラ見タラバ是ハドウモ貧富區別主義シヤラウト思フ、貧ナ者ハ馬鹿、金持ハ賢イ、ソコダカラ貧ナ者ハ議員ノ職ニ當ラナイヤウニ金持ハ此職ニ當ルヤウニドウモサウデアアルマイカト思フ、併ナガラ其御說ナラ私モ斯ウ思フデアアル中カラヌカハ知ラヌガソコハ御免ヲ蒙リマス、若シ其御說ナラ飛ンデモナイ間違ヒ、貧者必シモ愚者ナラズ富者必シモ英雄ナラズ、一簞ノ食一瓢ノ飲デモ顔淵ガ居リマスゾ

(子爵谷干城君ソレハ勅選ガ……ト述ブ)

マダアル、御默リナサイ私ガ許可ヲ得テ居マス、富ンダ者ハ三代目ハ唐様デ

實據札ヲ書クト云フコトガアル是ハ話デアル、併シ皆サン御承知デ……

〔子爵舟橋達賢君「モウ宜イ加減ニセイ」ト述フ〕

私ノ時デゴザイマス、議長カラ許ヲ蒙ッテ居リマス、前年我國ノ大豪傑大政治家ガ死ヲ遂ゲタ時後ヲ調ベテ見タラ手文庫ニタツタ百兩有ツタ

〔男爵伊達宗敦君「サウ早口デハ折角ノ御銘論モ分ラヌヤウニナリマスカラ……」ト述フ〕

是ハ恐クハ憲法ニ此ノ邊ノコトヲ慮ッテ貧ノ者カラ英雄ガ出ラダラウト思フカラ憲法ガ或ハ斯ウ云フコトヲ指ヘタカモ知レヌ、是ハサウダラウト思フ、斯ク言ヘバ先刻丁度何方カノ御説デゴザイマシタガ公侯爵ハナゼ歳費ハ出ナイ……

〔男爵伊達宗敦君「ドウ云フ譯……」ト述フ〕

唯今陳ベマス、國ノ歴史カラ言ヘバ公侯爵ノ御方ハ非常ニ尊敬シテ居ル是ハ私ガ言ハヌデモ御承知ノ筈ナデアル、ソレデ分ル、……

〔男爵伊達宗敦君「分ラヌ」ト述フ〕

分ラヌクレバアナタ御詮議ナサイ、然ルニ諸君ガ濫ニ此ノ憲法ヤ議院法ノ命シタル所ノ大主義ナル緩急輕重ヲ考ヘズ、之ヲ止メル杯ト云フハ以ノ外ノ事ダ、是ハ歳費ハ當選期ノ議員ニ賜フタノミナラズ、後ノ選期ニ出タ議員ニモ遣ル、又議員其人ニ賜フタノミナラズ議員其人ノ資格ニモ賜フタ榮譽アル歳費ヲ……以テノ外、本員ハ嘆息ダ、若モアナタ方ノ御議論ノヤウニ榮譽特權アルガ故ニ此歳費ヲ廢メルト云フコトナラバマダ澤山廢メルモノガ有リマセウ、其方ハドウナサルカ、是モ一々法律デ御ヤリナサルカ、私ハ少シ考ヘテ貰ヒタイ、併シ是ハ餘リ言ハズ負ケマス、此忠勇ナル開明ナル財力アル智識アル大國民ガコンナ經濟ハ望マヌダラウト私ハ思ヒマス、マダモウ一ツ分ラヌ事ガアル、提出者ノ御議論ニ此勅選議員ト衆議院議員ハ廢サヌ是ハ私ハ以ノ外ト思フ、此御議論筋デ行クト勅選議員モ廢サナケレバナラヌ

〔子爵曾我祐準君「御心配ハ入リマセヌ」ト述フ〕

衆議院議員モ廢スルガ宜シイ、均シク廢スルガ宜シイナラバ立派ニ廢シテ仕舞フガ宜シイ、然ルニ今國庫ノ經濟ハドウデゴザイマス、大變進ンダデハナイカ、私ハ決シテ此位ノコトハ差支ナイト思フ

〔子爵曾我祐準君「ヨシタラドウダ」ト述フ〕

ソレハ御勝手次第、アナタ御默リナサイ、先刻曾我サシノ仰シヤルニハ藹藹版ガドウダトカ仰シヤルガ私ハ見タコトモ何ニモナイガ私ノ考ヘルニハ曾我サシノ御演説カラシテ拜聴シテ見ルト三分ノ一弱位ハ租稅ガ増スデアリマセウ、ソレデ其位ノ大國民ガ何ノ此位ハ氣ニスルモンデスカ、私ハ決シテサウ云フ事ハアルマイト思ヒマス、故ニ經濟ノ點ヨリスルモ憲法上ヨリスルモ決シテ此歳費ヲ廢スル必要ハナイト思フ、ドウゾ斯ウ云フ事ハ廢メテ貰ヒタイモノジヤ、一層ヤルナラ大キク衆議院モ何モ皆ヤッテ仕舞フ、ドウモ片チンバ杯ハ以ノ外ノ話、依ッテ私ハ此法案ニ賛成スルコトハ出來ナイカラ不賛成ノ意ヲ

表シマス

○松本鼎君 議長……

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 松本君ハ何デゴザイマス

○松本鼎君 我ハ大抵宜カラウト思フカラ討論終結ノ勸議ヲ提出シマス

○小原重哉君 賛成

○子爵谷干城君 本員ハ通告ヲ致シテアリマスガ

○子爵酒井忠彰君 討論終結ノ勸議ガ出テ居リマス

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 松本君カラ討論終結ノ勸議ガ出マシテ賛成ガアリマス、松本君ノ勸議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者

〔多數々々——少數々々——ト呼フ者アリ〕

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 少數デゴザリマス

○馬屋原彰君 異議ヲ申立テマス

〔賛成——ト呼フ者アリ〕

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 異議ヲ申立テニナルノデスカ

○馬屋原彰君 サウデス

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 然ラバ氏名點呼ヲ行ヒマス

〔氏名點呼ヲ行フ〕

○議長〔侯爵蜂須賀茂韶君〕 氏名點呼ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス、出席總數百七十九、可トスル議員八十一、否トスル議員九十八、依ッテ討論終結ノ勸議ハ消滅致シマシタ

〔子爵谷干城君演壇ニ登ル〕

○子爵谷干城君 本員ハ賛成者ノ一人トシテ意見ヲ述ベル積デアリマシタガ、最早發議者ノ曾我君ヨリ殆ド述べ盡サレタ、デ段々反對ノ御説モアツタヤウデアリマスケレドモ、諸君ノ御聴キノ通一モ曾我君ノ論ヲ破ルコトハ出來ナイ、最モ價值ノアル論ト認メタ者ハ私共ハ殆ド無イト思フ、唯々諸君ノ御感シニナツテ御問違ガアラウト思フハ最初曾我君モ喋々ト述べラレタ通是ハ憲法附帶ノ法律デアルト云フコトガ大變御問違ニナリソウニ思フケレドモ、是亦曾我君ノ最初ニ述べラレタ爾後段々法律ガ出テ行クノダカラソレト一緒ニ出タカラ附帶ノ法律デアルト云フコトハ言ヘナイ、甲乙ノアル筈ハナイケレドモ反對論者ハ殊更ニ之ヲ其鄭重ニ申述べラレテカラニ此案ヲヨサレタコト、マア考ヘル、ケレドモコリヤー一モ價值ハナイモノト本員杯ハ考ヘル、實ハ最早曾我君ノ説ヲ繰返シテ申スモ御聴キ苦シイコトニナル多分曾我君ノ説ニ皆御同感デアラウト我々ハ考ヘル、唯茲ニ一ツ其議院ノ性質論ニ就イテ一通リ意見ヲ述ベテ置キタイト思フ、デソレハナゼカト云フト先刻兒玉君カラノ御説モアツタ、詰リ歳費ガ無クナルト顏淵ノヤウナ者ガ出來ヌナラヌ、貧乏人ガ困ルトカ云フヤウナ御説ガ出タヤウデアリマシタガ、是ハ議論トシテハ一向取ルニ足ラヌケレドモ實際ハサウ云フ人

ガ有ルカモ知レナイ、其公侯爵ハ世襲ニナツテ居ル、ソレカラ以下ハ互選ニ
ナツテ居ルト云フコトニ就イテハ會我君モ述ベラレタル通、唯互選ト、時ガ
來レバ則チ議員ニ爲レルト云フ差デアル、格別公侯爵ガ貴ヒカラト云フ譯デ
ハアルマイト思フ、若シ貴イモノヲ殊ニ別ニセヌナラヌト云フコトニナレバ
ソレハ恐レナガラ此皇族ト椅子ヲ列ベテ政務ヲ執ルコトヲ憚ラヌナラヌト云
フ譯デアル、決シテ貴イカラ云々ト云フコトデハナカラウト思ヒマス、元ト
此法ノ出來マスル時分第一公爵、第二侯爵ト云フヤウナ位地ノ御方ハ至ッテ
少ナカッタ、ソコデ一體ニ此論カラ云ヘバ貴族ハ凡テ貴族院議員ニ爲ルベキ
モノデアル、決シテソレニ甲乙ノアルベキモノデナイ、ケレドモ如何セン之
ガ多數デアル、多數デアルト皆貴族ヲ議員ニシタトキハ終ニドノ位大キナ
場所ヲ拵ヘテモ足リヌヤウニナル、ソレ故ニ名上ミノ殊ニ人數ノ少ナイ公侯
二爵ヲ特ニ區別ヲシテアトハ議員ニナル權利ハアルケレドモ數ガアルカラ
互選ニスル、互選ニスルモ此互選ニシタカラト云ツテ其權利ニ深ク變リノアル
筈ハナイ、唯多イカラ已ミヲ得ズ是ハ互選ニナツタ譯ト考ヘル、デ今日ノ
如ク第二ノ侯爵モ澤山出來又第一ノ公爵モ追々澤山出來ルヤウニナリマスレ
バ其時ヲ能ク考ヘテ御覽ナサレ今ノ方向デ往キ居ルト伯子男爵ノ覽ル處ハナ
イヤウニナル、斯ウ云フヤウニ世襲ノ公侯爵ガ殖エタトキハ勅選議員ハ固ヨ
リ多數納稅ノ諸君ノ如キモ覽ル處ハナクナル、是ハ元ト人數ガ少ナカッタ
カラ即チ斯ウナツタノデアリマス、御覽ナサレ、是ガ多クナツタ曉ハ矢張互
選ニスルカドウスルカセネバナラヌ、ソレカラシテ或ハ第二ノ侯爵ト云ヒ
伯爵ト云ヒ又子爵ト云ヒ大變區別ガアルヤウダケレドモ我々如キ此新參者
コソ區別ガアルガ伯爵ノ方、ト雖モ決シテ此第二ノ侯爵ノ位地ニ劣ラナイ
立派ナ家柄モ澤山御在リナサル、唯其舊來ノ祿高ノ實數ガ少ナカッタト云フ
ノデ不幸ニシテ伯爵ニ落チテ居ルト云フ譯デアル、其點カラ考ヘテ見タトキ
ハ侯爵必ズシモ伯爵ヨリ貴カラズ、伯爵必ズシモ侯爵ヨリ卑シカラズ、決シ
テサウ區別ヲ置クベキモノデナイ、元ト法律ヲ拵ヘタ精神モ其通デ唯少ナイ
カラ第一ノ公爵、第二ノ侯爵ハ世襲トシ、ソレカラ以下ハドウシヤウトシテ
モ人數ガ多イカラシテ遂ニ互選ト云フコトニナツタニ相違ナイ、サウスレ
バ此侯爵ト伯爵トノ間ニサウヤカマシク區別ヲ立テル程ノコトハアルマイト
本員ハ考ヘルソレカラ此勅選議員ノコトヲ一ツ辯シテ置キタイト考ヘマス、
是ハ會我君モ論ゼラレタ通知何ニモ 天皇陛下ノ御目鑑ヲ以テサウシテド
コカラデモ衆望ノ歸シ才德ノアル如何ニモ是ハ名稱ノ上コソ平民デアルケレ
ドモ其所謂天爵、學問ニ於テハ決シテ公侯ニ劣ラヌト云フ即チ天爵ヲ有シテ
居ルハヲ擧グルノ趣旨デアル、サウスレバ我々ドウ考ヘテモ此人ミト我々
トハ土臺筋ノ違ッタ人、天爵ヲ得ラレタ人デアル、ソレニ歳費ヲ遣ラナイヤ
ウニシヤウト云フノハ是ハ甚ダ無理ナ話デアル、先刻兒玉君モ言ハレタ通陋
巷ニ自ラ樂ンデ一簞ノ食一瓢ノ飲テ居ルヤウナ顏淵如キ人モ迷惑ナガラ時
トシテ 陛下ノ御目鑑トアレバ出テ此職務ヲ奉ゼヌナラヌ、其時ドウモ麥飯

ノ腰辨當デ是ヘ來イト云フノハソレハ出來ナイ話デアル、サアソレガ出來
ナイタメニ此天爵アル所ノ人ヲ用ヒルコトガ出來ナクテハ此議院法ノ精神
ガ潰ブレテシモウカラシテ此勅選議員ノ歳費ヲ除ケルト云フコトハ我々ハ徹
頭徹尾不同意デアル、若シ單ニ今日ノ如ク我々同様に此國費ヲ以テカラニ恩
給其他ノモノヲ受ケテ居ル諸君ハソレハ免モ角モデアルケレドモ無位無爵
無勳ニシテカラニ此先キドウ云フ立派ノ人ガアルマイモノデモナイ、其人ガ
勅選セラレ、日ニナツテハ是ハ決シテ唯使ウト云フ譯ニハ往カナイ、今日ニ
於キマシテモ無爵無勳ノ勅選ノ方モ有ルト思フ、此人ハ必ズ立派ナ人、我々
ガ尊敬スル人デアル、サウスレバ今後無爵無勳ノ勅選セラレ、人ハ我々
敬シテカラニ之ヲ迎ヘタイト思フノデアル、スレバ何ゾ此勅選議員ノ歳費ヲ
廢スル杯ト云フコトハ以ノ外ト考ヘル、是ハ決シテ御心配ニハ及ビマセヌ、
ソレカラ又多額納稅諸君、是ハドウウカト云フト是ハ即チ地方ニ於テ十五人ト
云フモノヲスグツテ其中カラ選マレル、其地方デ十五人ト云フモノハ昔デ考
ヘテ見タトキハ遠ク封建ノ世ニ在ッタトキハ家ノ子郎黨ヲ引連レテ一方ノ旗
頭トナル人ミデアルカモ知レヌ、又今日ニ於テモ多數納稅諸君ハ地方ニ於テ
學事ナリ實業ナリ他ノ人民ノ模範トナツテ卒先シテヤツテゴザル人ダ、即チ
地方ニ於テ且那ト崇メラル、所ノ所謂一種ノ貴族デアル、即チ紳士ト今日謂
フ所ノ者デアル、決シテ此有諸諸君ト其位置ニ至ツテ異ナル所デハナイ、異ナ
ル所ハナイカラシテ始メテ憚ナガラ上皇族ヨリシテ有諸諸君ト椅子ヲ聯ベテ
其公務ヲ執ル譯デアル、是ハ前申ス通一ノ士豪デ立派ニ暮シテ居ラル、位置
デアルカラシテ今日歳費ヲ廢スルト云フコトニ御同意ニナルハ誠ニ當然ノ事
デ村上君モ申サレタ通今日或役人ノ考カラ言ヒマスレド唯國ガ太ッタ、膨脹
シタ、租稅ガ何倍ニナツタト云フコトヲ言ハレマスケレド地方ニドウ云フ狀
況ガアルカ、サウ云フ事ハ知ラナイ、唯役人ノ作タ統計表杯ヲ見テ實際ノ事
ハ知ラナイ、成程國ノ租稅ハ殖ヘタニハ相違ナイガ御承知ノ通人民ハ年々
歳々ニ殖エテ來テ居ル、サウスルト地方ノ租稅ガ殖エタト云フテモ家内數ニ
ナツテ見レバ矢張地方ノ貧乏ナコトハ昔ニ較ベテ變リハナイ、變リハナイト
云フヨリハ寧ロ昔ヨリハ劣ッタト言フテモ宜シイ位ノモノデアル、デ富ノ度
ヲ比例スルニ至ツテハ第一殖エタル人間トサウシテ其土地カラ出ルモノヲ比例
セネバ單ニ一端ヲ見テ國ガ太ッタ太ッタト云フコトヲ言フテハ間違ハウト思
フ、ソレデ多數納稅ノ村上君ノ言ハル、即チ地方人民ノ感情ト云フモノヲ今
日ハドウシテモ惹起サネバナラヌ、ソレニハ昔流カ何カハ知ラヌケレドモ
免ニ角躬ヲ以テ之ヲ率ユルト云フ事ハ幾分カセネバナナルマイト私共モ思フ、
又サウ云フ事ハ即チ東洋ノ名物デアル、單ニ法律ヲ以テ云々スルト云フコト
ハ全體日本ノ國ノ組織カラ違ッテ居ル、ソレ故ニ三議員及多數納稅ノ諸
君ガ此案ヲ贊成サル、ト云フコトハ至當ノ道理、又或ル點カラ言ヘバ今日ハ
薪ニ臥シ瞻ヲ營ムル時デアル杯ト云フ極端ナコトモ能ク聞ケレドモ我々ハ
ソレナニ感シハセヌ、サウ云フ時デハナイト思フ、サウ云フ時デハナイト思

フケレドモ又或論者ノ言フ通何倍ニモ國力ガ重ナツタト云フコトモ容易ニ信
ジナイ、テ今日ノ經濟ノ發達シテ居ルヤウニ見エル所ニ至ッテハ我々又疑ガ去
ラナイ、御承知ノ通金銀貨ノ市價ニ依ッテ大變此經濟ノ様子ガ變ッテ居ル、
是等ノ事ハマダ四五年經ッテ見ヌトドウ云フ景況ニナルヤラ知レナイ、弊ノ
見ハレタ所ヲ以テ此通デアルト云フテ喜ブト云フコトハ誠ニ淺薄至極ノ事柄
デアアル、ヤレ鐵道モ起リ紡績會社モ起ル、種々ノコトヲ言ヒヨリマスルケレ
ドモ、御覽ナサレ、三年後五年後、十年後ニハドウ云フコトニナルカ我々ハ
決シテ眞正ノ發達ヨリ斯ウ云フコトニ至ッテ居ルトハ思ハナイ、色々ノ貨幣
ニ代ルモノガ出來テ逆セ上ッテ居ルカラ此景況ヲ呈シテ居ル、スレバ斯ウ云
フ國事多端ノ際デアレバ發議者ノ言ハル、通之ヲ減ズルト云フコトニ於テ實
ニ當然ノ事ト思フ、唯取ルガ權利デアアル今之ヲ廢ムルハ權利デモ剝奪セラ
ル、ヤウニ御取込ミニナルハ大變ナ御間達デアラウ、モウ是バカリニシテ置
キマセウ、モウ之ニ就イテハ格別御論モアルマイト思フ

○加藤弘之君 議長

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 加藤君

○山川浩君 討論終局ノ動議ヲ提出シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チ下サイ

○高木兼寛君 反對ノ意見ヲ述ベタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チ下サイ、通告者ニ發言ヲ許シマシ
タ

(加藤弘之君演壇ニ登ル)

○加藤弘之君 諸君、私ハ此案ノ出マスル前ニ贊成諸君ノ中カラ相談ヲ受ケ
タコトガアル、デ其時分ニハマア極ク出シ抜ニ御話ヲ聽イタノデ、大抵宜カ
ラウト思ヒマシタ、併ナガラ、マア出シ抜デアアルカラ隨分重大ナ事デア
ルシ、今全ク贊成スルト云フ譯ニモ往カヌト云フコトモ御話致シマシタ、ソレ
カラサウ云フ譯デモアリ、且ツハ私ハ先ツ局外者ノヤウナ譯デアアルカラマア
此贊成人ノ中ニ加ハルト云フコトモ自ラ憚ル所モアル、サウ云フ譯ニマア御
話ヲシテ置イタ、併シ總テ物ハマア能ク考ヘテ見マセヌト輕卒ニハ往カヌ譯
デアアルカラ段々ソレカラ考ヘ又西洋ノ事モ調ベテ見タ、デ此マア理由ガ出テ
居ル所モ一通リ御尤ノ事ニ考ヘル、或ハ又理由外ニ弊ノ有ルコトモアラウカ
トモ考ヘルケレドモ總テノ事ト云フモノハ一ノ弊ヲ除クト云フコトニ急ナル
トキニハ其弊ヲ除イタメニ却ッテ圖ラズ起ッテ來ル所ノ弊ハ終ニ見逃シテ仕
舞ッテ今現ニ有ル所ノ弊ノ方バカリニ眼ガ著イテソレヲ除クトニ熱心ニナ
ルト云フコトハ總テノコトニアル、デ一ノ弊ヲ除クト云フコトニ就イテハ其
弊ヲ除イタ後ニドウ云フ利ガ有ルカ弊ガ有ルカト云フコトヲ總テ考ヘルコト
ガ必要デアラウト思フ、サウシテ置キマセヌト或ハ測ルベカラザル弊ガ出テ
來ルト云フコトガアラウト思フノデ、私モ段々考ヲ費シテ見タノデ、ソレデ
唯今マデ諸君ノ贊成ノ御論反對ノ御論ヲ承ツタケレドモ私ハ一ツモ感心ヲシ

タコトハナイ、贊成ニモ反對ニモ感心シタコトハナイソレデ私ノ申上ゲヤウ
ト云フコトハ曾我君ノ反對論ガ出ルデアラウト云フ中ニ數ヘラレタ第三デ
アツタト思フ其事ニ過ギナイ、ソレハ曾我君ハ今ノ貧乏人ガ除カレルダラウ
ト云フ杞憂、即チ杞人ガ天ノ墜ツルノヲ憂フルト云フヤウナ反對論モアルデ
アラウ、ケレドモソレハ眞ノ詰ラナイコトデアルト云フコトヲ言ハレタ、誠ニ
簡單デソレダケデアアルカラ私ハ感心セナシタ、ケレドモ私ガ申上ゲルハ一
口ニ言ヘバソレニ類シタコトデアアル、ソレデ有爵者ノ中ニ貧乏人ガ有ルト云
フヤウナコトハ私ハ失禮ナコトハ申上ゲマセヌガ、併ナガラ鉅萬ノ富ノ人モ
有リ或ハ其今日稍ク辛フジテ生計ヲ立テ、居ルト云フ御方モ失禮ナガラチ
タア有ラウト思フ、失禮ナ言ヒ方デアアルケレドモ……ソコデ此互選ト云フコ
トニハデス、成リタケ漏レル人ノ出來ルト云フコトガ惡ルイト思フ、先ヅ其歲
費ヲ或ハ自分ノ生計ニ用ヒルト云フヤウナコトハ是ハ固ヨリ惡ルカラウ、ケ
レドモ併シ今日稍クニシテ自分ノ財產デ生計ヲ立テ、居ルト云フ人ハ其人モ
此東京住居ノ人ナレバ議院ニ出テ澤山其タメニ費ガ掛ルト云フコトハナイ、
併ナガラ京都カ、或ハ地方カラ出テ來ラレル人ハ旅費ハ出マスルケレドモ此
方ラニ三箇月滞在スル或ハ其外臨時會ガアルコトモアル、ソレニハ多少ノ物
入リガアル其物入リト云フモノハ今日稍ク生計ヲ立テ、或ハ子弟ノ教育費モ
アル、或ハ年ヲ取ッタ兩親ノ養老金モアル、サウ云フヤウニシテ辛ウシテ生計
ヲ立テ、居ルト云フヤウナ人ガ有ツタト見タトキハ……必ズ多少有ラウト思
フ、サウシタトキハ其人ガ議員ニナツタメニ東京ニ三箇月滞在スル、又臨時
會ガアレバ別ニ滞在スル、多少物入リガアル、ソレヲ其生計カラ出スト云フコ
トハ苦シイコトデアラウ、苦シイト云フトキハ或ハ自分ガ議員ニ選バレタ
クテモ斷ハラネバナラヌト云フヤウニナリ、又選バウト云フ人モ氣ノ毒デア
ルカラ選バズニ置カネバナラヌト云フヤウニナル、併ナガラ其人ト雖モ智慧ノ
ナイ人トハ言ヘヌ、隨分其人ヲ選シタナレバ外ノ金ヲ持ッテ居ル人ヲ選シ
タヨリ餘程國家ノタメニ益デアラウト思フ、テモ選舉者ハ遠慮シナケレバナラヌ
デス、又其被選者モ已ムコトヲ得ズ、選バレテハ困ルト云フ事情モナイトハ言
ヘヌ、サウ云フコトニナリマスレバドウシテモ被選者ノ一部分ト云フモノハ
自然法律上デハ權利ヲ持ッテ居ルケレドモ實際ハ權利ヲ殺ガレタヤウナコト
ガ出來ハシマイカト考ヘル、ソレニ附キマシテ少シ事ハ大小ノ違ヒガアツテ極
クキツチリ當リマセヌケレドモ、私ハ西洋學者ノ英吉利ノ議院ニ附イテ論シタ
コトヲ調ベタノヲ簡單ニ翻譯シテ來マシタカラソレヲ一應御參考ニ供スルノ
デ、其西洋學者ト云フノハ近年死シタ所ノ獨逸ノ有名ナ法律學者、殊ニ公法學
者デ有名ナぶるんちヨリ、此ぶるんちヨリト云フ人ガ多分諸君モ大分御
聞及ビニナツタコトデアアルデセウ、此人ノ政治論ト云フ中ニ英吉利ノ國會ノ
誠ニ其豪族のニ偏シタノヲ歎息シテ書イタ論ガアル、英吉利ハ眞ニ自由ヲ尊
ブ國デアアルケレドモ、總テ此議院ノコト、云フモノハ法律上デハサウデナク
シテ實際ニハ酷ク其豪族のニ偏シテ居ル、即チ金持ガ權力ヲ持ツト云フ實際

ノ有様ニナツテ居ルト云フコトヲ論ジタ中ニ、一寸朗讀致シマス、「英國ノ議院ハ徹頭徹尾豪族のナリ、衆議院議員トモ其大多數ハ豪族、大地主、大資本家等ニシテ尋常一様ノ平民ハ僅々タル數ニ過ギズ、英國新聞ノ報ズル所ニ依レバ、衆議院議員ガ一年間ニ其職務ニ關シテ費ス所ハ大凡二千ばうんど、……二千ばうんどハ今日ノ相場デ日本ノ一万八千圓……一年間ニ費ス所ハ二千ばうんどニ下ラズト云フ、併シテハ餘リ過大ニシテ實ヲ失ヘルガ如シト雖モ然レドモ其決シテ少額ナラザルハ敢テ疑フベキニアラズ、故ヲ以テ知識アリ、又時トシテハ財產乏シクシテ議員トナラムトスル人ガ親戚又ハ知己ヲ大臣ニ依頼シテ俸給多額ナル官吏トナシ、其俸給ノ幾分ヨリニ收取シテ議員ノ費用ニ充ツルガ如キコトモナキニアラズ」大抵御分リニナリマシタラウ、ケレドモ此英吉利ノ衆議院ト云フモノハ一寸考ヘタラ固ヨリ選舉權モ被選舉權モ低イコトニナツテ、近頃ハ段々低クナツテ擴充致シマシタカラ極ク薄產ノ人ガ澤山出テ居ルデアラウト考ヘラレル、所ガ衆議院デモ豪族トカ、大地主トカ大資本家ト云フ人ガ大抵議員ニナツテ尋常ノ人ハ誠ニ僅デアル、ソレデ法律ト實際トハ大變違フテ居ル、選舉權ハ低イ所マデ與ヘ、被選舉權モ低イ所マデ與ヘテアツテ、ソレデ實際金持デナケレバ選舉サレヌ、ソコデ此英吉利新聞ノ何ミデアリマシタカ、此ぶるんちゆりーガ言フノニハ衆議院議員ガ一年間ニ議員トシテ費ス金ハ二千ばうんど、日本ノ一万八千圓ト云フガソレハ餘リドウモ大キ過ギルヤウデアル、此ぶるんちゆりーガ言フノニ、是ハ餘リ大キ過ギルヤウデアルケレドモ決シテ少額デ濟ムトハ思ハレヌ、サウ云フ譯デアアルカラ智識ガアツテモ財產ノナイ人ハ或ハ其黨派カラ助ケタリ、或ハ富豪ノ人ガ助ケテ金ヲ出シ合フテ議員ニスル、ソレカラモット甚シイノハ財產ガ乏シクテ議員ニナレヌ人ハ、自分ノ親戚カ知己ヲ大臣ニ依頼シテ月給ノ高イ官員ニシテ貰フテ、ソレデ其人ノ月給ヲ幾ラカ自分ニ取ツテサウシテ自分ガ議員ニナツテ議員ノ費用ニ充テルト云フコトモ稀ニハアル、尤モソレハ甚シイ弊害ト思フノデ、ソレデ斯ウ云フ譯デアリマスカラ英吉利ト日本トハ大變ニ違ヒ、ソシテ金モ入りマセヌケレドモ富豪大變ニ違フ、斯ウ云フ譯デア英吉利ハ自由ノ國ト云フ立派ナ國デ法律ハ選舉權モ被選舉權モ段々低クシテ擴張シテ行キナガラ其實際ハ矢張貴族院ニ出ルヤウナ人ガ多ク衆議院ニ出テ居ル、眞ニ一様ノ平民ト云フモノハ誠ニ僅シカナイ、ソレハドウモ仕樣ガナイ、金ガ澤山要ルノデ、金ガ要ルカラ仕樣ガナイ、法律ハ許シテモ實際ハ金持デナケレバ行カヌト云フコトニナルト云フノデアリマスガ、唯今申ス通ニ日本ノトハ事情モ大變違ヒマスルケレドモ其日本ノ議員デハ金ガ澤山要ラヌデゴザイマセウケレドモ併シ先刻申シタ通ニ稍クニ生計ヲ支ヘルト云フヤウナ人ハ其上ニ百圓デモ二百圓デモ別ノ物ガ出ルト云フコトハ随分苦シイコトデアアルカラ、サウスルトドウモ随分サウ云フ所ノ部分ノ人ハ自然除カレル、法律ガ許シテモ除カレルト云フコトニナル弊ガアルト私ハ思フ、ソレハ

實際決シテ無イコトデハナカラウト私ハ局外デ分リマセヌケレドモ大抵推察スル位デアアルガ、推測シマスルト法律ガ立派デモイカヌ、ソコデ歳費ヲ廢メルト云フコトハ結構ナコトデアラウト思ヒマスルケレドモ其タメニ弊ガ起ルトドウシテモ財產ノ先ヅ幾分カ裕ナカラ重モニ互選ヲセラレルト云フコトニナルト、其以下ノ所デハマイアイツデモ互選ニ洩レネバナラヌ、若シ洩レザラント欲セバ人ガ助ケテ遣ルト云フヤウナコトニナルトソレハ自ラ私恩ヲ賣ルト云フコトニナリマセウ、或ハ助ケル人ハ私恩ヲ賣ル積デナクテモ自ラ助ケラレタラバ其人ニ不利益ナ議論ハ出來ヌト云フコトニナルノモ人情已ムベカラザル所デ致方ノナイコトデアラウト思フ、サウ云フコトハ私ハ一ツ考ヘテ見ネバナラヌコト、思フ、今日ノ世ノ中ニ有爵者ハ充分ニ特權ガアリナガラ歳費ヲ貰フ、歳費ハ總額ニシタ所ガ僅ノコトデアアルカラソレダケ儉約シテモ國ノタメニナル程ノコトハナカラウ、ケレドモ德義心ニ於テ縱令少クトモソレヲ上ゲルノハ當然デアルト云フ議論ハ御尤ナ事ト思ヒマスルケレドモ、ソレヲソウシテ或ハ今言フヤウナ法律デ許シタ權利モ其權利ヲ施行スルコトノ出來ナイ部分ガ幾分カ出來ヤウト云フコトハ是ハ宜イコトデハナカラウ、英吉利ノ今ノヤウナ有様トハ餘程違ヒマスルノデ全ク此比較ニハナリマセヌガ併ナガラ自ラ性質ノ似タヤウナ所ガアラウト思フ、私ノ先ヅ大意ハソレデアアル、ソレデ其後トハ弊ヲ考ヘルト私ハ曾我子爵ノ云ハレタ唯杞人ガ天ノ墜ツルヲ憂ヘルヤウナ漠然トシタコトデハナカラウト思フ、幾分カ有爵者ノ中ノ其中ノ幾分ガ自カラ權利ヲ以テ居テ實際ノ權利ヲ行フコトニ省カレテ仕舞フト云フヤウナ事情ニナルト云フコトハ隨分能ク考ヘテ見ネバナラヌコト、考ヘル、ソレデ先刻申シマシタ通ニ此議論ハ初メ承ツタ時ニハ出シ拔ケデアリマスカラ充分マダ考ヘル暇モナシ餘程宜イヤウニ考ヘマシタガ自分デ考ヘ又ぶるんちゆりーノ論カラ考ヘテ見テモ後トハ弊ガ却ツテ恐ルベキモノデアラウト考ヘルノデ、ソレダケ一言致シマス

○子爵谷干城君 一寸質問ヲ致シマス、唯今加藤博士ノエライ妙ナ御心配ガゴザイマシタガ少シモ差支ヘヌト思フ、又英吉利ノ方ヲ御引キニナリマシタガ是ハ一向適用ニナラヌ、ドウ云フ御積デ御引キニナツタカ一向我ニハ分ラナイ、抑、衆議院ノ歳費ヲ削ルト云フ案デハアリマセヌ、サウスレバ英吉利ノ衆議院ガドウアツテモ適用ニハナラヌ、モウ一ツアリマス、貴族院デゴザイマスガ貴族院ノ即チ有爵議員ニシマシテ若シアナタノ御説ノ如ク實ニ貧乏デアツテ之ヲ勤メルコトガ出來ナイ、併シ歳費ヲ廢シテモ誠ニ立派ナ人ガ有リマシタ時ニハ、矢張勅選セラレレデアリマセウ、有爵者ハ勅選議員ニナルコトガ出來ナイト云フコトハアリマセヌ、段々例ガアリマス、即チ茲ニ居ラル、小澤君ノ如キハ有爵デ出テ居ルノデハナイ勅選デ出テ居ルノデ又……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 谷子爵ハ御意見ヲ御述ベニナルノデアリマスカ
○子爵谷干城君 イエ質問ヲスルノデアリマス、一向御心配ナコトハナイ矢

張勳選出ラレルノデアリマス

○加藤弘之君 ソレハ餘程オカシイ、衆議院同士デ比較シテ云フノヂヤナ
イ、英吉利ノ衆議院デモ貴族院デモドチラデモ構ハヌガ衆議院ノコトデア
カラ衆議院デ云フノダ、サウ云フヤウニ法律ガ許シテモ實際ニハ法律デ許
タ權利ヲ有スルコトノ出來ヌヤウニナルノガアル、ソレヲ唯比較シテ云フ
デス、衆議院デモ貴族院デモ何デモ構ハヌガ唯其比較デ、ソレガ初ノ御問
スナ、ソレカラ第二ノ御問ハ良イ人ガ有レバ勅選ナサルデアラウト云フコト
デアリマスケレドモソレハ勅選モナサイマセウ、幾ラモ勅選モ出來マセウ、
有爵者カラ勅選ガ出來ヌト云フノヂヤナイ、ソレハ私モ能ク知ッテ居ルケ
レドモ、ソレガアルカラ皆今ノ貧乏ナ人ハ皆勅選ナサルト云フ譯ニハ行クノ
ヂヤアリマスマイ、何シロ其部分カラ權利ヲ實際ニ除カレルト云フノハ私ハ宜
クナイト思ヒマス

○子爵谷干城君 ソレハ僅々アルカモ知レヌ……

○加藤弘之君 固ヨリ少イ、大變餘計アルトハ思ヒマセヌガ唯ソレヲ比較シ
テ論ジタノデアリマス

○子爵本莊壽巨君 賛成反對トモ御議論ガ充分ニアリマシタカラ茲ニ討論終
結ノ動議ヲ提出致シマス

○柴原和君 賛成

○伯爵正親町實正君 賛成

○子爵岡部長職君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本莊子爵ヨリ討論終結ノ動議ガ出マシタ、段々
賛成ガアリマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、討論終結ニナリマシタ

○子爵曾我祐準君 御採決ハ起立デ宜カラウト思ヒマスガドウ云フ御都合デ
ゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今申シマス、正親町伯爵其他二十人以上ノ議
員ヨリ表決ハ記名投票ヲ以テスベシト云フ請求ガゴザイマス、依ッテ是ヨリ
記名投票ヲ行ヒマス、是ヨリ氏名點呼ヲ行ヒマス、能ク御承知ノ通りデアリ
マスガ問題ヲ可トスル議員ハ白色票、問題ヲ否トスル議員ハ青色票ニ各々御
姓名ヲ御認メニナルコトデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 念ノタメニ一寸伺ヒ置キマスガ是ハ法律案デアリマスガ
ラ第二讀會ニ移ルヤ否ヤト云フコトデアリマセウ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 勿論サウデゴザイマス、即チ第二讀會ヲ開クベ
キヤ否ヤノ決ヲ採ルノデゴザイマス、第二讀會ヲ開クベシトスル御方ハ白色
票、開クベカラズト云フ御方ハ青色票ト云フコトニナリマス

(氏名點呼ヲ行フ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 投票終リマシタニ依ッテ直ニ開票致シマス

(書記官投票ヲ計算ス)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 投票ノ結果ヲ御報告ニ及ビマス投票總數百八十
一、白票即チ第二讀會ヲ開クベシトスル議員ガ七十二青票即チ第二讀會ヲ開
クベカラズトスル議員ガ百八、外ニ青票デ記名ノ無イノガ一枚有リマシタ、
是ハ無効ニナリマス、依ッテ第二讀會ハ開クベカラザルコトニ決シマス、次
ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、明後十二日午前十時開議、第一、鐵道敷設
法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、
第二、明治二十八年度特別會計歲入歳出豫算追加案(乙)政府提出、衆議院
送付、會議、豫算委員長報告、第三、市町村立小學校教員年功加俸國庫補助
法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、第四、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ
特別委員ノ選舉、第五、公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案、政府提出、
衆議院送付、第一讀會、第六、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、
第七、鎮守府造船材料資金増加ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第
一讀會、第八、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第九、市制中東
京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案、衆議院提出、第一讀會、第十、
右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、第十一、市制中追加法律案、衆
議院提出、第一讀會、第十二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉、
本日ハ散會

午後四時二分散會

貴族院議事速記録正誤

頁 段 欄 誤 正
二九 上 第十五號 第十六號